

第二十四回帝國議會
衆議院

北海道國有未開地處分法改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十一年三月二十二日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

宮古 啓三郎君	齋藤 宇一郎君	橫田 虎彦君
淺羽 靖君	中西 六三郎君	瀨下 秀夫君
鈴木 藤三郎君	駒林 廣運君	橋本 久太郎君
武満 義雄君	松井 源内君	安島 重三郎君
平島 松尾君	山口 熊野君	

出席政府委員左ノ如シ

內務次官 吉原 三郎君	北海道廳長官 河島 醇君
北海道廳事務官 黒金 泰義君	

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

北海道國有未開地處分法改正法律案

○委員長代理(平島松尾君) 諸君ニ申上ケマスガ、委員長ガ遲クナリマシタナラバ、ドウカ代テ早ク開イテ貰ヒタイト云フ申出ガゴザイマスカラ、モウ御摘デゴザイマスカラ、私が代テヤリマスガ宜シウゴザイマスガ

(「ドウカ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○委員長代理(平島松尾君) ソレデハ是カラ開會致シマス

○政府委員(河島醇君) 淺羽代議士ヨリ御質問ニナリマシタコトニ就テ、御答致シマス、北海道未開地ノ内、泥炭地等處分ニ就テハ、將來ドウ云フ方針ヲ執ルカト云フ御問デゴザイマスガ、是等ノ未開地ニ就キマシテモ、ヤハリ他ノ未開地ノ土地ニ比較致シマシテ、其地味其土地ノ狀況等ニ就キマシテ、餘程取捨折衷ヲシナケレバナラヌカト思ヒマス、殊ニ泥炭地若クハ火炭地トカ申ス土地ハ、牧畜若クハ植樹等ニ適スルモノト認メテ居リマス、因テ斯ノ如キ土地ニ於テ開墾セントスルモノハ、到底資本ノ豐ナモノデナクシテハ成功モムツカシイト考ヘマス、是等ニ對シテハ特ニ其土地ノ事情ヲ取調ベテ、其方針ヲ定メタイ思ヒマス、要スルニ小農ニ對スル方針ハ、モウ御承知ノコトデゴザイマスガ、大地積ニ對スル方針ハ、貴族院ト協議ノ上豫定致シマシタ面積ヨリモ地積モ増シ、併セテ又今度ハ最初ヨリ共同經營スル計畫デゴザイマス、是等ニ付テモ二人ノ共同ハ出來テ居ッタヤウデゴザイマス、ガ面積ニ限リガアリ、多數ノ共同力ニ依テ牧畜山林等ノ合同ノ經營ヲ要スルモノ、請願ニ對シテハ、其設計上ノ十分ノ成功ヲ期スルモノデアリマスカラ、例ヘバ十人デ内實ハ全體デスルトシテモ、現行法律上ハ個々別々デアリマスガ故ニ、之ヲ經營スル場合ニハ其設計ハ個々別々ニ爲サナケレバナラヌ、例ヘバ十人ノ共同デモ現行法ニ於テハ、個々十箇所ニ着手セバナラヌ、其實際ハ共同經營ヲ爲シ、アツテ、個々別々ニ獨立シ、個々別々ハ有名無實ノミナラス、拓殖上ノ經濟又ハ牧場等ノ獎勵ヲ爲ス上ニ付テモ、事實上不便デアリ、又監督上ニ付テモ實際ハ全體ヲ見

ナクテハナラヌ場合モアリマスカラ、此度ハ二人カ三人デモ聯合經營ヲ許シテ、十人デモ五人デモ二千五百町歩マデハ共同シテ農業ヲ營ムコトヲ得ルヤウニ致シマス、又牧場森林ニ對シテハ、四千町歩マデハ共同事業ヲヤリ得ル方法ヲ採リ積リデアリマス、是等ノ方針ヲ將來大ニ北海道拓殖ニ從事スル者ハ、有産者デナケレバナラヌ、又拓殖上當局者モ十分ナル便宜ヲ計ルト云フ希望デアリマス、要スルニ從來法律ノ缺點ヲ補フ同時ニ、尙行政上ニ於テモ十分ニ注意ヲ致シテ、第一實際ニ適スルヤウニ致シタイト云フデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○齋藤宇一郎君 此未開地ノ百二十八万町歩、及未ダ其場所ヲ確定シテ居ラナイト云フヤウニ、貴族院デ御説明ニナッタヤウニ記憶シテ居リマスガ、ソレハ段々御調査ニ依テ自然確定サル、モノトシテ、此確定ヲサル、場合ニ於テハドウ云フ風ナ方針ヲ採ラル、ノデアルカ、例ヘバ治水等ノ關係ナリ、即チ國土保安氣候ノ調和ト云フモノニ對シテハ、ドウ云フ風ノ方法ヲ以テ其地點ヲ撰バル、ノデアルカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ此草案ノ第三條ニアル此各特定地ト云フモノハ、ドウ云フ標準ニ依テ之ヲ決定サル、ノデアルカ、斯ウ云フコトヲ一ツ、ソレカラ第五條ノ拂下價格、是ハ確カ原案ニハ九、六、三、二トナッテ居ッタノヲ、貴族院ト御交渉ノ結果半分ニサレタト云フコトニ承知シテ居リマスガ、最初原案ニ九、六、三、二トサレタ理由ト、ソレカラ半分ニ同意サレタ理由ト、之ニ就テ御説明ヲ承リタイ

○政府委員(黒金泰義君) 未開地百二十八万町歩ニ就キマシテ、其中ノ約一百万町歩ト云フモノハ、今日大體ニ於テ極テ居ルノデアリマス、ソレハ御手許ヘ差上ケテアリマス、ソレニ依テ大體一通リノ面積ハ調査済ニナッテ居リマス、其外ニ國有林ノ中カラ六十七万町歩ト云フモノハ、是ハ豐作地牧場地トシテ未開地ニ編入スベキ土地ガアリマス、ソレモ極テ居ル答デゴザイマス、併ナガラ唯今御質問デアリマシタ如ク、是カラ先キ之ヲ撰定致シマシテ、尙之ヲ處分致シマスニ就キマシテハ、既ニ豫算ニ於テ御協賛ヲ願ヒマシタ如ク、北海道ノ森林ヲ整理シテ參ルコトデゴザイマスカラ、此森林ノ關係上カラ將來増林上、又ハ國土保安ノ關係カラ森林ノ經營ノ上ニ於テ、調査ヲ致スコトニナッテ居リマス、茲ニ凡ソ極テ居リマスルコトコロノ面積モ、是カラ先キ各之ヲ處分致シマスルニ就キマシテハ、變更ハ無論アルコト存ジマス、尙又國有林未開地ノ編入ノ如キモノニ對シテハ、勿論變更ヲ來シマスケレドモ、併ナガラ今日ノ調べ方ニ就キマシテハ、今日マデノ調査デハ約二百九十八万九千町歩ト云フモノハ、御手許ニ御參考ニ差上ケテ置キマシタデアリマス、ソレカラ次ニ御尋ノ地積ノ制限耕作地ガ五百町歩、牧畜地ガ八百町歩ト云フ標準ハ何ニ依ッタカト云フ御尋デアリマスガ、最初此制限ニ付テハ勿論大農制デナイカラ、餘リ廣ク致シマシテモドウデアルカト考ヘテ、最初ノ考ハ耕地ガ二百町歩、牧畜地ガ五百町歩ト見込ヲ立デマシタガ、尙確實ナル資本家ノ爲ニハ先刻長官カラ申シマシタ如ク、餘リ少ナクシナイ方ガ宜カラウト云フ考ヲ立テマシタガ、此事ニ就テ貴族院ニ於キマシテモイロ、御協議ガゴザイマシテ、現ニ今此面積ガ勅令ニ依ッテ定メタ所

ニ據レバ五百町歩、牧畜地が二千二百五十町歩、即チ千八百町歩ヨリ一万町歩バカリ多イコトニナッテ居ル、植樹ニ要スルノガ二百坪デアリマスガ、現行ノ勅令デサモ耕作地ノ制限ガ五百町歩ト云フ制限アルカラ、之ヲ殊更ニ増加スル 必要ガナイデハナイカト云フ協議ガアリマシタ爲ニ、是ハ將來ノ執行上ニ關係致シマスルコロノ最大限ヲ定メタルデゴザイマスカラ、強テ之ニ對シテ拘泥スル必要ハナイト考ヘマシタニ付テ、耕作地ニ就テハ現行法ノ如ク、又牧畜ノ制限ト云フモノモ、殆ド現行法ト云フ意味デゴザイマシタケレドモ、唯現行法ガ坪數デゴザイマシタガ、今度ハソレヲ町歩ニ致シマシタノデ、植樹ニ關スル土地モ是ハ隨分大ナル面積ヲ要スルコトデアリマシテ、或ハ百町歩位デハ足リナイデアラウト思ヒマスガ、是モ當テ豫算ヲ拵ヘテ、御協賛ヲ得マシタ如ク、將來國有林トシテアリマス所ノモノヨリハ、私有林トシテ二十万町歩ト云フモノヲ個人ノ經營ニ委セル所ガアルノデゴザイマス、故ニ是ハ今日ノ未開地ニ屬シテ居ル所ノ土地デアッテ、サウシテ植樹ニ供スベキ土地柄デアリマスカラ、是ハ大ナル所ノ營林上ノ目的ニ供スルノデナクシテ、普通ノ薪炭用材ニ手輕ナル植樹ニ供スル爲ニ、此制限ヲ設ケタルデゴザイマス、北海道デ増林ノ業ニ從事セントスレバ、今申上ゲマシタ國有林デ今年ハ三十萬町歩、來年ハ六千町歩、其次ハ一萬町歩ト云フヤウニ處分ヲシテ居ルノデアリマスカラ、其方デ十分ニ供給ガ出來ルノデ、其他ニ於テ特ニ二十町歩ト申シマスノハ、今日ハ一戸分五町歩ガ普通ニナッテ居ル、併ナガラ土地ノ形勢ニ依リ、又ハ土地ノ地質ニ依リマシテハ、五町歩デハ一戸分ノ經營トシテ不足ノ場所ガナイトモ限ラレマセヌ、且又牛馬デモ養フト云フ者ニ對シテハ、多少ノユトリヲ附ケテ、普通ハ五町歩デアリマスガ、十町歩マデ遣レルコトノ制限ヲ立デマシタ、ソレカラ其次ニ第五條ノ賣拂價格ニ付テノ御質問デゴザイマスガ、是ハ成程初メニハ御尋ネノ如ク、此價格ガ殆ド倍ノ價格ヲ見込シタノハ、何カラ基イテ居ルカト云フト、是モ當局トシテホシ見込ヲ立デタルデアリマシテ、併シ是デ賣レルヤ否ヤト云フトニ就テハ、其時ノ詰リ需要供給ノ關係ガゴザイマスカラ、果シテ其通り賣レルカドウカト云フトモ、唯見込ヲ立デタルニ過ギマセヌ、ソレデ北海道ニ於テ土地ノ賣買價格ヲ稅務署ノ表ニ因ツテ調ベテ見マスルト、昨年ノ暮デシタカ最下等ノ所ガ九圓五十一錢三厘ト云フトニナッテ居リマス、實際ガサウナッテ居ルカラ、其十分ノ一ト云フトニ見積ツテ、假リニ此位ノ限度デ平均シタラバ賣レルデアラウト云フ見込デアリマシタ所ガ、實際ソレデ果シテ賣レルカ否ヤト云フトハ今申上ゲ兼ネマス、然ルニ貴族院ニ於テ斯ノ如キ價格ハ非常ニ高イデヤナイカト云フヤウナ協議モ起リマシタ、全ク是モ自分等ノ見込デゴザイマスカラ、其考ノ通りニ致シマシタ所デ差支ハナイト思ヒマシテ、此五條ニ掲ゲタヤウナ制限ニ致シマシタ次第デゴザイマス

○齋藤字一郎君 唯今ノ價格ノコトハ御説明ニ依ルト、原案ハ稅務署ノ調査デ、現在ノ賣買價格ヲ標準トシテ、其十分ノ一二極メタルト云フトデアアルノニ、貴族院デハ尙非常ニ高イト云フ點カラ詰リ半分ニシタト云フトデアリマスガ、此參考書トシテ御配付ニナリマシタモノニ依テ見ルト、明治五年アタリカラ、ヤハリ此草案アルヤウナ價格デヤッテ居ラレタヤウデアリマスガ、今日マデ——二十年、三十年經ツタ今日デモ、ヤハリ此價格ガ適當ト認メテ御出シニナッタルデアリマスガ、何カ他ニ事情ガアルノデスカ

○政府委員(河島靜君) 御答致シマスガ、御斷リ申シテ置カクッテハナラヌガ、是ハ原案デハナイ、改正ノ參考書ニアルノデ、唯見込デス、總テ大体ノコトハ原案ニ上ッテハ居ラヌ、唯見込ヲ出シマシタノデ、其參考書ニ付テ質問ガ出タ、其見込ハ高クハナイカト云フノデ、段々貴族院ノ少數委員ノ方ノ意見モアリマシテ、彼是レ協議ノ結果、貴族院ノ希望ハ即チ明治五年ニ北海道ニ於テ土地賣買規則ガアル、彼ノ當時ノ賣買ニ依テハ、ドウカト云フトニナッタルデス、サウシテ今度ハ必ズ勅令ヲ以テ施行セラル、施行規則ニ掲ゲテ貴ヒタイ、土地ノ面積代價ノコトヲ——初メ當局者ニ於テハ此法案ガ通過スレバ、之ニ伴フ省令ヲ發シテ、賣價トカ云フモノハソレニ依ッテ定ムル積リデアリマシタ、ソレヲ貴族院ニ於テハ或ハ賣價ノ見積等モ勅令ヲ以テヤッテ貴ヒタイト云フトデ、政府當局者モソレデ差支ナイト同意シタルデアリマス

○武滿義雄君 御配布ニナリマシタ最近六箇年ノ未開地處分調ヲ一見スルト、五箇年間ノ調ノヤウデスガ、三十五年、六年、七年ハ變リハナイ、筆數モ面積モ大分殖エテ居ルガ、三十八年、三十九年ニ對シ、三十九年ハ筆數ト面積ニ於テ減ツテ居ルガ、是ハ如何ナルコトガ原因ニナッテ、斯ノ如ク減少ヲ來タシタモノデアルカ、之ヲ伺ヒタイ、此未開地處分法ノ改正前ハ、無償貸附ト云フ方針デアッタガ、今度ノ改正案デハ有償付與ト云フトデアマルデ、反對デアアル、然ルニ處分サルベキ土地ノ面積ハト云フト、既ニ處分サレタ分ガ百三十万町歩、而シテ將來處分スベキ分モ丁度ソレト同様デ百二十八万町歩デアアル、所ガ今マデ處分濟ニナッテ居ル所ハ、便否ノ上ガラモ便利デ、又地積ノ上カラ云ウテモ善イ所デアアル、所ガ是カラ處分サル、所ハ、便利カラモ其地積カラモ宜クナイ、然ルニ今度ハ賣拂モ貸付モ有償ト云フトニ重キヲ置クコトニナッテ、ソレハ一面ニハ財源ヲ殖ヤシ、一面ニハ成功ヲ期スル上ニ於テ、斯ク有償ト云フトニシタ方ガ得策ト云フトヲ信ジタガ故ニ、斯ノ如ク方針ヲ變ジタコト、思ヒマス、然ルニ事實ガ申シタ通りナラバ、却テ無償貸付、無償付與ト云フ方針ヲ執ルベキコト、思フニ、今度斯ク改正シタ其結果ハ、年々事實ニ於テ減ツテ來テ居ル、故ニ其減シテ來ル原因ガアレバソレモ伺ヒタイ、ソレデ又返還ノトコロヲ見ルト、三十九年度ハ却テ多クナッテ居ル、其返還ノ原因ノ何タルヲ問ハズ、免ニ角殖エテ居ルノハドウ云フ譯デアアルカ、之ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(黒金泰義君) 此三十八年、三十九年ノ處分地ノ減シテ居ルノハ、御案行ノ如ク三十七年、三十八年ハ日露戰爭ノタメニ、拓殖ノ事業費モ削除サレタノガ最も影響ヲ蒙リマシタノデ、撰定區畫ヲシテ貸付スル處分ニ付テ手が廻ラヌ、人員等ガ不足ノタメニ貸付處分ノ方ガ減ジタノデス、ソレハ何故減ジタカト云フト、三十七年三十八年ノ經費ヲ減シマシタガ、三十七年ハ、三十六年ニ於テ既ニ撰定區畫ヲ行ッテアッタタメニ、三十七年ニハヤルコトガ出來タノデ、ソレカラ二十九年度ノ經費ハ元ノ通りニナッダガ、支出スル方ガ間ニ合ヒマセヌタメニ事實ガ其通り出來マセヌ、ソレデ三十七年三十八年ノ經費削減ノ結果ガ、三十八年三十九年ニ現ハレマシタ、ソレカラ四十年ニ於テモ是ハ餘程殖エタガ、是モ多少今申上ゲタヤウナ結果デ、俄ニ人員ヲ増ストカ、技術員ヲ養成スル等モ出來兼ネマシタノデ、影響ヲ受ケテ居リマス、ソレカラ三十九年ノ返還ノ方ハ、然レバ殖エテ居ルデハナイカト云フトデアリマスガ、是ハ別ニ理由ガアッタノデアリマセヌガ、實地ノ調査ヲ致シマスルノハ多クハ支廳ノ役人ヲ以テヤッテ居リマスル、支廳ニ於テハ是ハ平常ノ役人デスカラ、事業費ガ減少セラレテモ急ニ減ズルコトガ出來マ

セヌタメニ、例へば本廳ニ於テハ、事業費が減シタナラバツレ、ツレニ從ツテ減シナケレ
バナリマセヌガ、支廳ハサウニ云フ譯ニハ參リマセヌ、是ハ平常ノ事務員デスカラ、ツレデソレ
等ノ者ガ詰リ實際ニ於テ調査ヲヤツタ結果デアラウト思フノデアリマス

○武満義雄君 未ダ一ツアリマス、將來處分スベキ土地ハ却テ今迄處分シタノヨリモ
便利ノ惡イ、地積ノ上ニ於テモ非常ニ不利益ノモノト思フ、サウニ云フ事情アレバ、却
テ今迄通り無償貸付無償附與ノ方針ヲ取ルベキカ相當ト思フ、然ルニ此法律ノ改正
案ハ、其趣意トハ反對ニシタノハ何等ノ理由デアルカト云フノデアリマス

○政府委員(黒金泰義君) 御答致シマス、御手許ニ差上ケマシタノハ、三十五年度
カラ四十年マデノ表デアリマスガ、御案内ノ如ク北海道ノ拓殖事業ハ、三十四年二十年
計畫ヲ立テマシテ、二十四年カラ三十九年マデ百二十万町歩ノ處分ヲスルコトデアッタ
デアリマス、ツレデ二十四年カラ三十九年マデ土地處分ノ狀況ヲ見マシムト、一箇年ニ
十四万町歩以上ノ土地ヲ處分シテ居リマス、尙唯今ノ御不審ノアツタ三十八年二十
九年ノヤウナ戰時ノ影響ヲ受ケタ分ヲ差引イテ計算スルコト云フト、十六万町歩以上
、年々處分シテ來タノデアリマス、ツレデ今度此改正案ト共ニ處分スルコトコロノ方針ハ何
レニ據ツタカト云フト、今日マデノ經驗ハ、斯ノ如ク年々十四万町歩以上ツ、ヤツテ居
ルガ、尙今後雖モ多少減ズル考ヲ持テ居リマスルガ、先ヅ十年ノ計畫内デ年々十萬町
歩ツ、繼續スルタメニ、内端ノ見込ヲ立テマシタ、ツレカラ今日マデニ既ニ處分シタ土地
ト、是レカラ處分スルコト云フコトコロノ土地ニ付キマシテハ、此地積ノ便否ヲ申シマスレバ、
成程今日マデノ所ノ方ガ宜イト云フ傾キハアリマスガ、併ナガラ土地ノ經濟上ノ利用ノ
上カラ申スト、單リ積バカリニ拘泥シテ申ス譯ニハ往キマセヌデ、交通機關デモ開ケレバ二
等地ト云々モノガ一等地ヨリ價格ガ上ル傾キモノデスカラ、今日迄處分シタモノト、雙
方相對シテ比較シタラ、以前ノ地ガ肥沃ノ地ト申シテ差支ナイト思ヒマスガ、併シ計畫
ノ上カラ云フト、是ガ瘠セタ土地デアルト云フコトハナイト存ジマス、尙今日ノ北海道ノ狀
況ヲ見ルニ、實際ノ賣買讓與ガ民間ニ澤山行ハレテ居ル、併シ北海道ノ事情ヲ御承知
ノ方ハ知ツテ居ラル、ガ、是ハ數字ヲ以テ狀況ヲ示スト云フコトハ困難デアリマス、ツレト云
フハ今日マデ讓與ト云フモノハ、官廳ノ許可ヲ得ナケレバナラヌノデ、範圍ガ狹イ爲メ、表
立ツテスルニハ理由ヲ持タナケレバナラヌカラ、内實ノ賣買讓與ト云フモノガ行ハレテ居
ルト云フハ爭フベカラザル事實デアリマス、ソレ故是カラ賣拂ツテモ開墾上左迄ノ影響ヲ來
スコトハナイト思フノデアリマス

○武満義雄君 此最近ハ箇年ノ調ハ、願出デタ者デ處分サレタモノデアルト思ヒマス
ガ、此外願出デタ者デモ排斥サレタノガアラウト思ヒマスガ、其許シタ者ガ幾ラ、許サヌ者ガ幾
ラト云フコトヲ承リタイ

○政府委員(黒金泰義君) 此表ハ全ク許可シタモノ、調ベデアリマスガ、又許可ノ數
ハ此外ニアルノデ非常ニ多イノデアリマスガ、其統計ハ持テ居リマセヌ

○武満義雄君 年々願出ガ多クナツタカ、少クナツタカヲ知リタイノデ、委員會ノ終ル迄
ニ御調ヲ願ヒタイ

○松井源内君 チョット同ヒマスガ、有償貸付ニ付テ假リニ五百町歩トスレバ、大分大
キナモノデスカ、ツレガ四圓五十錢ナリ、三圓ナリニ耕地トシテ賣渡シテ、其地積ガ二等

三等ノ耕地ト見ラル、ガ、全部アルヤト云フニ、サウニ云フ譯ニハ往カヌト思フ、先日ノ長
官ノ説明ニ依ルト、六分ダケ開墾ニ適シテ四分ハ荒地デモ其儘ニスルコト云フコトデア
ルガ、サウスルト成效年限ニ之ヲ耕地デアルモノヲ牧場地ニシナケレバナラヌモノアリ、植
林地ニシナケレバナラヌモノモ出テ來ルト思ヒマスガ、其場合ニ耕地トシテ金ヲ納メテア
レバ、三圓ナリ四圓五十錢ナリト云フモノハ戻サヌコトニナリマスガ、戻サヌトスレバ十年
間ニ成功スレバ地租ハ付キマシマイガ、耕地トシテ地方費町村費ヲ賦課サレヤウニ考
ヘマスガ、其邊ハ如何ノモノデス

○政府委員(黒金泰義君) 唯今ノ御問ハ耕地ニ屬スル土地ヲ耕地ニ適セヌ、時ニ
變更ヲ許スカドウカト云フコトデスカ、ツレハ許シテ差支ナイ、併シ耕地デ賣ツタ値段ヲ牧
場ニ直シテ返スト云フコトハ、其處マデ考ヘテ居リマセヌ、多分返サヌコトニナルト思ヒマス
○中西光三郎君 賣拂貸下ヲナサルニ就テハ、道廳デ相當ノ調ヲシテ牧場ニ適スル
カ、農耕ニ適スルカ、見分ケテ付ケテ處分スルモノト考ヘマスガ、尤モ多イ中ニハ例外モア
リマセウガ、大體ハサウニ云フコトニシテ、出願スル場合ハツレニ對シテ相當ノ注意ヲ拂ハ
レルコト、思フガ、今ノ松井君ニ對スル説明デアルト、少シ其點ガ分ラヌヤウデスカ……

○政府委員(河島靜君) 先刻ノ説明ハ少シ足ラヌトコロガアルヤウデスカ、耕地ニ於
テハ今ノコトハ生ゼヌト思フ、併シ牧場トシテ拂下ゲタモノヲ耕地ニ變更スル場合ハアル、
此時ニハ増徴ハヤラヌ積リデス、元ト當局者ガ牧場トシテ撰定シタ地ヲ、牧場トシテ經
營シタ結果、一部ガ耕地ニナツテモ増徴ハシナイ、併シ其反對ニ耕地トシテヤツタモノガ、
荒地デアルト云フトキニハ、先刻御答致シタ如ク其代價ハ返還セヌト云フノデス、併ナガ
カ雙方ノ場合共成功ノ後地價ヲ附スル場合ニハ、牧場トシテ拂下ヲ受ケタコロノ地
積モ成功ノ後、地價ヲ附スルコトキハ同一デアル、又耕地トシテ拂下ヲ受ケタ土地モ、耕
地ニ適シナイ所ハ荒地トナルカ、何ニカ變更致シマセウガ、拂下ノ上ニ付テハ變更サセナ
イ積デアリマス

○松井源内君 サウスルト耕地ト致シマシテ政府ガ拂下ゲタモノ、五百町歩ト云フ土地
ハ申スマデモナク大ナモノデアル、全部耕地ト見ラルベキ所ハ、北海道ノ中ニハ或部分
ハゴザイマセウケレドモ、到底其一區劃ニ五百町歩ガ耕地ニ適當デアルコトハ豫期シ得
ナイノデアリマス、五百町歩ノ内上等ノ所デモ半分位シカ耕地ニ適シナイノガ多イ、ツレニ
五百町歩ガ耕地トナツテ價格ヲ以テ賣拂ラシタ、然ルニ其金ハ減額ニナラヌトス
ルト、耕地ニ適シタモノハ半分シカナイノニ、外ハ牧場ニシカナラヌ土地デアルト、高イモノ
デ人民ガ——買受ケタ者ガヤラヌケレバナラヌト云フコトニナリマス、尙十年ナラ十年ノ
竣工年期ト、起業法ノ通り成功シタ曉ニナツテ、地租ハ唯ニナリマシテモ——附キマシ
テモ納メマシマイケレドモ、今日ノ地方費町村費ノ如キ加稅ハ總テ賦課セヌト云フコト
ニナルノデアリマスガ其邊ノトコロハドウ云フコトデアルカト云フコトヲ御尋シタイノデア
リマス

○政府委員(河島靜君) 五百町歩ハ必ず一個人ニ付與スルノデナイ、其内三百町
ナリニ二百町歩ナリ好ムトコロデ宜シイノデ、凡ソ是ハ農耕地ニ適當ト云フコトハ選定シテ置
キマスガ、希望者ハ農耕地ニ適當ノ所ハ必ず五百町歩受ケラレヌナラヌト云フコトハナイ、
五百町歩ヲ農耕地トシテ希望シテ拂下ヲ受ケタ人モ、實際ヤツテ見テ地質ニ等級ガ

アツテ、惡イ所ハ抛テ置イテモ、六歩通り成功スレバ其人ガ全然權利ヲ得ルコトニナリマスカラ、幾分カ損シテ居ルコトハ問ハナイガ、併ナガラ成功後稅ヲ掛ケラレトキハ、實地ニ就テ耕地デアルトカ、此耕地ヲ拂下ケタトキハ同様に地租ヲ課セナケレバナラヌト云フコトニハナルマイト思ヒマス

○松井源内君 サウスルト詰リ、五百町歩ノ耕地ト政府ガ御検査ニナル、斯ウ云フモノハ是ハ二百五十町歩ハ牧場地ニシカ適シナイ場合ニハ、政府ハ耕地ト御検査ニナッテ確定シタニモ拘ラズ、是ハ變更シテ下サルノデスカ

○政府委員(吉原三郎君) 唯今ノ御心配ハ一向心配ハ必要ガナイト考ヘマス、北海道廳ハ農耕適地トシテ告示シテモ、買フ人ハ告示バカリ見テ買フコトハナイ、投資スル人ハ實地ニ検査スル、故ニ道廳モ農耕適地ト認メ、本人自ラモ亦サウ認メテ買シテ見タライケナカッタト云フトキハ仕方ガナイ、コナラガ農耕適地トシテ告示シテモ、本人が見テ半分ハ詰ラヌ地面デアルト云フナラバ、誰モ買人ガ無クナルノデスカラ、ドウシテモ賣レナイトキハ自分バカリ何ト言ッテ威張テモ、惡イ所ハ需要供給ノ關係買手ガ無クナリマスカラ、道廳ハ更ニ調査シテ一部分ガ往カヌト云フコトニ確定スレバ、取除ケルコトモ出來ヤウト思フ、無理無體ニコナラカラ賣付ケルノデナイカラ、其心配ハ要ラナイト思フノデアリマス

○松井源内君 ソレハ尤モデアリマスガ、直グニ見レモノデアリマセヌ、五百町歩ハ立木ガ無クテモ篠ガアル、人間ノ歩ケナイヤウナ處ヲ拂下ヲ受ケルノデスカラ、調査シテ見ナケレバ實際分リマセヌ、東京ノ近傍ノ山ヲ見ル如キモノデアリマセヌ、五町モ二町モ動ケナイ所ヲ濫シテ歩クノデスカラ、着手シテ見ナケレバ分カラヌデアリマス、故ニ政府ノ調査モ十分ニ出來ルモノデアナイノデアアル、又金ヲ出シテ拂下ヲ受ケル方モ五日ヤ十日デ、五町歩ノ地積ヲ見ルコトハ言ウテモ行ヘルモノデアナイ、故ニ耕地トシテ金ヲ取ラレタ地積ハ、非常ニ惡カッタメニ牧場ニスルヨリ外ニ仕方ガナイ場合ガアルト思ッテ、本員ハ心配スルノデアリマス、固ヨリ調査シテ此處ヲ耕地ニ往ケナイト云フコトガ直グニ分レバ、決シテ左様な心配ハ要ラヌノデアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) 今ノ松井君ノ説ハ御尤ト考ヘマス、例ヘバ五百町歩ヲ農耕地ト見テ拂下ヲ受ケテ、精密ナル調査ヲシテ見ルト、全部農耕地デアナイ其中ノ或部分ハ牧場ニシカナラナイ、斯ウ云フコトニナッテ來タトキニ、其農耕適地ノ部分ハ宜シイガ、サウデナイ處ハ牧場適地ト目的ヲ更ヘテ願ッテ出タナラバ、ソレヲ許サルヤ否ヤ、又サウナッタ場合ニ農耕適地トシテ拂下代金ヲ牧場適地ノ代金ニ變更シテ呉レルカドウカト云フ二ツノ問デザイマス

○政府委員(河島醇君) 土地ヲ撰定シテ公告スル場合ニハ、當局者モ相當ノ調査ヲスル、拂下ヲ受ケル人モ將來ノ見込ヲ立テ、資本ヲ投ズルコトデアアルカラ、調査スルノデ、唯農耕適地ノ公告デアアルカラ、下付ヲ受ケヤウト云フノデハ困ル、畢竟今マデノ弊害ハソコニアルノデ、堂々タル人ノ名ヲ以テ下付ヲ受ケタ土地ガ何處ニアルヤ知ラヌ人ガアル、或ハ轉賣スル或ハ種々ナ人ノ名義ニナッテ、ソレカラ苦情モ起ルノデ、此度ハ各種ノ地目ヲ分ツト同時ニ、下付ヲ受ケヤウト云フ人モ自身若クハ相當ノ代表者ヲシテ十分調査シテ、十分ナル設計ヲ立テ、願書ヲ出サセル、ソコマデシタラバ松井君ノ御話ノヤウナ疑ハ

アルマイト思フ、併ナガラ牧場トシテ拂下ヲ受ケテモ、幾分ハ耕地ニセネバナラヌ必要ガ起ル、ソレヲ耕地ニ變更シタラ地代ヲ増徴スルカト云ヘバ、ソレハハシナイ、ソレト同時ニ農耕適地トシテ下付シタモノモ地味ガ適セヌカラトテ代價ニ返還セヌ積リデアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) 地價ヲ返還セヌコトハ分ツテ居ルガ、最初實際ヲ調べテ農耕適地デ宜カラウト云フ考デ拂下ヲ受ケタガ、後ニ精密ナル調査ヲシタラサウデナイ、東京附近ノ土地ト調べ方ガ違フカラ、ドウモ間違ガナイト云フコトガ言ヘヌカラ、間違ノアツタトキニ農耕適地トシテ、ドコマデモ事業ヲセネバナラヌト云フコトデアルト、勝手ニ牧場ニスルト後トテ取消サル、サウ云フ場合ニハ牧場適地ニ變更ヲ許サレルカドウカ

○政府委員(河島醇君) 小農ニ對シテハ普通五町歩賣付スルガ、幾分牧畜ノ希望アル者ニハ、場合ニ依テハ十町歩賣付スル、ソレト同様ノ五百町歩ヲ拂下ヲ受ケテ悉ク耕スコトハ出來マイト思フ、幾分ハ樹木ニスルトカ、牧場ニスルトカセネバナラヌト思フ、今北海道ハ内地ノヤウニ悉ク菜園地ニスルトカ、田地ニスルトカ云フコトハ出來マセヌ、多クハ畑作デアアルカラ幾分ハ牧畜ヲセネバナラヌマイト思フ、實際ガ左様ニ見受ケテ居ル、ソレデ土地ノ拂下ヲ受ケル者ハ用ニ立タヌヤウナ土地ノ拂下ヲ受ケルヤウナコトモナシ、又道廳ニ於テモ成ルベクサウ云フ處ヲ農耕適地トシテ撰定シナイ積リデアリマス、勿論幾分カ用ニ立タヌ土地ガ出來ルカモ分ラヌガ、拂下ヲ受ケントスル人ハ相當ノ人ヲ派遣シテ調査スルカラ、御話ノヤウナコトハ實際澤山アルマイト思フ

○委員長(宮古啓三郎君) 最初政府モ拂下ヲ受ケル者モ、農耕適地ノ積リデアッタカラ、未開地處分法ニ據リテ撰定ノ通りヤラネバ、拂下ヲ取消サレルコトニナッテ居ル、然ルニ不通當ナ土地デアッタトキニハ、農耕適地トシテヤラネバナラヌトスルト、拂下ヲ受ケタ人ハ迷惑スルカラ牧場ニ變更シテモ差支ナサソウニ思フガ、金ハ別トシテソレハドコマデモ許サヌト云フノデスカ

○政府委員(河島醇君) 六分通り成功スレバ、ソレカラ先ハ問ハヌノデアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) ソレガ六分通り農耕適地デアナイ、即チ農耕適地ハ四分デ、牧場ノ方ガ六分通りデアルト云フコトガナイトモ限ラヌ、サウ云フトキニモ牧場ニ變更スルコトハ出來ナイデスカ

○政府委員(黒金泰義君) 道廳ニ於テモ出來ルダケ十分調査ヲスルカラ、先ヅ一通リ間違ヒハナイ積リデアアル、併ナガラ唯今ノ質問ノヤウナコトガ實際ニ於テ道廳ノ技師モ誤リ、又拂下ケル人モ誤ッタト云フコトニナッテ、ドウシテモ耕地トシテ成功セヌ場合トナレバ、是ハ改メテ慎重ニ調査ヲシテ目的ヲ變更サセテモ差支ナカラウト思ヒマス

○駒林廣運君 大体ハ分リマシタカラ、各條ニ就テ質問シマスガ、九條ノ土地貸付ハ總テノ土地ヲ包含シテ居ルカ、特定地ハ脱ケテ居リマスガ、又十條前二條ノ期間ハ植樹又ハ泥炭地ノ使用ニ限リ特ニ二十年迄之ヲ延長スルコトヲ得タル、然レニ現在ガ無償貸付ハ十年有償貸付ハ十五年トアル、斯ウ延べルノハ一ノ恩惠ト云ッテ宜イカ、延べルトシタナラバ此順序ニ依テ延べルノガ公平デアラウト思フ、此十一條ヲ見ルト「前項ノ延長期間ハ通シテ豫定期間ノ半ヲ超ユルコトヲ得ヌ」デ、十五年ノモノハ一十二年半ニナリマスガ、斯ウ云フ風ニ延べル、前ノ方モサウアッタ宜カラウト思フガ、然レ二十年ノ方ハ十年延べルケレドモ、十五年ノ方ハ五年位シカ延ベナイト云フコトニナッテ居ルノハ、

開墾ト云フコトハ私ハ存シマセヌカラ疑ガ起ルノカモ知レナイガ、何カ不公平ノヤウニ考ヘラレヌカラ、其理由ヲ承リタイ

○政府委員(黒金泰義君) 此土地ノ貸付ノ中ニ特定地モ這入ッテ居リマス、是ハ期間ヲ超ユルコトヲ得ズデアリマスカラ、其間ニ於テ更ニ定メテ積リデアリマス、十條ノ二十年迄之ヲ延長スル申シマスルノハ是ハ今日迄既ニヤッテ居リマスコトデ、特ニ有償無償ノ區別ヲシテヤルヤウナ必要ガナイコトデアラウ、殊ニ十五年ノ有償貸付テ植樹若クハ泥炭地貸付ト云フコトハ、今日マデアリマセヌサウデスカラ、無償貸付ハ現行法ニ依テ十箇年デ宜カラウト思ヒマス

○駒林廣運君 ソレカラ十六條ニ至ッテ、ドウモ混雜シテ居ルヤウデ、第二項ニ前項ノ場合ニ於テ其ノ土地ニ存在スル工作物其他ノ物件アルトキハ所有者ノ請求ニ因リ評定ノ上移轉料ヲ辨償シ又ハ評定價格ヲ以テ之ヲ買収シ且土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用ハ之ヲ辨償ス」トアリマスカラ、第五條ノ貸付ニ當ルモノデ即チ土地ニ何カ工作物デモアッテ場合ヲ規定シタヤウデアリマス、引續テ「但シ第三條ノ第二項」ト云フコトガアッテ、特定地ノ方モヤル、斯ウ云フ風ニ公用又ハ公共ノ利益トナルベキトキニハ、取上ゲラレ、斯ウ致シマスルト即チ是ハ直接ノ工作物ノ爲メニ特定地トシテ設ケタルデアアル、即チ開墾ガ出來テ居ルヤウナトキハ取ラレ、前ノ素地ノ儘ニ用井ル者デアラナラ、品物ヲ評定價格ヲ以テ移ストカ買上ゲニナル、サウナルヤウニ思フケレドモ、此開墾シタル土地其物ノ公用トカ公共ノ利益ト云フコトハ、隨分廣イ意味ニナルノデ、其時ニ自分カソレコソ後世子孫ノタメニ非常ニ辛苦シテ費シタルモノヲ、直ゲ取ラレル斯ウ云フコトガアル、二項ノ中ノ意味ハ果シテサウ云フ意味デアリマセウカ、ソレカラ此文章ニ「評定價格ハ其ノ土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用ヨリ多キトキハ其價額ニ依リテ辨償ス」斯ウ云フコトガ能ク分リマセヌ、此御解釋ヲ分ルヤウニ願ヒタイ

○政府委員(黒金泰義君) 此場合ノ貸付地ハ、單リ五條バカリヲ指スノデゴザイマセヌ、詰リ三條モ這入ッテ居リマス、ソレデ公共ノ利益ノタメニ返還セシムル場合、即チ貸付地デアリマスカラ、公用徵收ノ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、ソレデ總テ其貸付地ニ付テ返還セシムル場合ハ、先ヅ第一ハ其土地ニ對シテ費ヤシタル費用ヲ辨償スルト云フコトガ原則デアアル、併ナガラ此特定地ニ對シテハ詰リソレヲ開墾シタル土地ノ評定價額ガ多クナッタル云フコトニナレバ、即チ開墾ノタメニ多クナッタル土地デアアルカラ、其直接ノ費用ハ開墾ノ目的ヲ達セタモノデアラナラバ、評定價額ヲ以テ辨償スルト云フコトヲ書キマシタ、要スルニ是ハ他人ノ所有權ニ屬スル土地デアレバ、公用徵收ニナリマスケレドモ、貸付地デアアルカラ其事ガ出來マセヌノデ、特ニ規定シマシタ

○駒林廣運君 此特定地ト普通ノ貸與地トハ性質ガ異ナッテ居ルト思ヒマスカラ、特定地ト開墾シテ出來タ其他ノモノト同様ニ取ラレルト、甚ダ氣ノ毒ニ思フ、ソコデ斯ウ云フコトハ土地收用法ト云フモノト、此公用若クハ公共ノ利益ト云フコトハ、違ウデアラウト思フ、土地收用法ハ官ノ土地是ハ自分一個ニ對スル土地デアラウ出來タノ何カ公共ト云フト廣イ意味デ學校ヲ建タルトカ病院ヲ建タルト云フコトデアアルト餘程大キイガ、公共ノ利益ト云フコトハ甚ダ廣イ、サウシテ、折角開墾シタル土地ヲ素地ノマ、ニ用ユル土地ト同様ニ取上ゲラレルト云フコトハ、ドウ云フ考デアリマスカ

○政府委員(黒金泰義君) 總テノ公共デアリマスカラ、評定價格ヲ以テ規定致シマス、例ヘバ百圓ノ價ガアルガ直接費シタモノハ八十圓ニ過ギナイト云フトキニハ此方デヤル……

○駒林廣運君 原則トシテハ其土地ニ直接ノ費用ヲ辨償スルノガ原則デアアル併ナガラ特定地ハ今申サウナ開墾ノ目的トシタル土地デアリマスカラ、其費シタモノハ八十圓デアアルケレドモ、評定價格ガ百圓若クハ百圓以上ノトキハ、ソレニ依テ辨償スルノガ恩惠デゴザイマセウト思フ

○淺羽靖君 一應私モ伺ヒタイ、此改正案ノ方針ハ河島委員ノ御説明デ分リマシタガ、其收入ハ北海道ノ將來經營費ニ當アルト云フコトガ、其中ニアッテヤウデアリマス、然ルニ若シ其收入ガ此方針ノ如クナイトキニハ、北海道ハ益々發達シテ來テ、經營ヲ國家ガシナケレバナラヌ、其多大ノ費用ニ當ラヌヤウナコトガ出來タトキニハ、財源ト云フモノハドウナサルノカ、此土地ト土地トニアル立木トダケヲ標準ニセラレテ、其外ニハ及バヌト云フコトデアアルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、第二ハ北海道ノ目下收入ガ一千万圓以上國家ニ納マルヤウニナッテ居ルカト認メマス、然ルニ政府ガ郵便電信カラ一切北海道廳マデノ費用ヲ、北海道ニ費シテ居ルコロノモノト比較スレバ、既ニ二百万圓以上三百万圓近ク收入ガ支出ヨリ増シテ居ル、是ハ畢竟年々拓殖費ヲ入レ鐵道ヲ修ヘ、數多ノ經營ヲセラル、カラ收入ガ殖エテ往クノデ、故ニ此法案ニ依テ人間ヲズンク出シテ往ケバ、其ノ土地其モノヨリハ收入ハ直ニ這入ラヌト云フコトコロガ、人間ガ殖エレバ幾多ノ國稅ト云フモノハ、直接間接ヲ問ハズ收入ガ増シテ來ルノデ、然ルニ其方ノモノハ幾ラ増シテモ北海道ノ經營ニ使ハヌデアアルガ、前段ノ御尋ヲ致シタ通り、此土地ノ收入ノ外ニハ幾ラ經營スベキ大問題ガ澤山アッデモ、此土地其モノ、收入ヨリ外ニハ經營ヲ掛ケナイデアアルカ、其二點一ツ伺ッテ、尙ソレヨリ幾多ノコトヲ伺ヒタイ思ヒマス

○政府委員(吉原三郎君) 唯今ノ御質問ハ、北海道ハ臺灣ノ如クニ特別ノ經營ニアラヌト云フコトヲ御記憶下スツタナラバ、總テノモノガ解決——疑ガ解決セラル、カト考ヘマス

○淺羽靖君 ドウモ私ニハ分ラヌデアリマスガ、段々貴族院等ノ御説明ニ依テ見テモ、此土地ト立木ノ收入ヲ以テ將來ノ經營費ニ充テルト云フヤウニ御答辯ガアルヤウニ聞イテ居リマス、シテ見ルト事業ハ益々多クナルニ、其費ストコロノ經營費ト云フモノハ、此單ニ土地ト立木トニ限ラレテ居ル趣意ノヤウニ見エマスガ、故ニ伺フノデ、臺灣ノ特別會計トハ北海道ハ異ッテ居ルト云フコトハ記憶シテ居リマスガ、貴族院等ノ御説明ニ依テモ甚ダ疑問ヲ抱キマスルガ、故ニ伺フ次第デ

○政府委員(吉原三郎君) 貴族院ニ於テ私ノ説明致シマシタルハ、斯ウ云フコトヲ申シタルデアリマス、貴族院デ此土地ノ價ガ高イ、斯ウ云フコトヲ頻リニ言ハレマスガ、此土地ノ價ト云フモノハ、勿論未ダ果シテ是ダケヲ以テ賣ルト云フコトヲ極メテ譯デハナイ、如何ニ政府ガ是ハ九圓デナケレバ賣ラヌト斯ウ言ッテ威張ッテ見タコロガ、誰モ買人ガナケレバ自然ト價モ下ケナバナラヌト云フコトニナルノデ、之ヲ法律デ定メテ貫ヒタイト云フコトデアリマシタガ、法律デ之ハ定メベキ事柄デナイト思フ、唯貴族院ノ心配致サレマスルノハ、此ノ如キ其高イ値段ヲ以テ政府ガ賣ラウト致シタナラバ、恐ラク是ハ賣レナイ、既ニ其

イトコロノ土地ハ總テ今日撰リ取リヲサレタ曉デアッテ、今日在ルトコロ土地ハ、ナカノ其賣レナイヤウナ惡ルイ土地バカリ殘テ居ルト云フヤウナ説モゴザイマシテ、却テ其之ヲ賣ラウナツト云フ考ヲ持ツタナラバ、拓殖ノ進歩ヲ妨ケルコトニナリハシナイカ、其點ニ付テ貴族院ハ深く心配ヲ致サレテ居ルヤウニ承知シマシタノデアリマス、ソコデ賣レナイモノデアラナラバ、之ヲ無理ニ賣ルト云フコトハ出來ナイガ、自分等ノ考ニ於テ、土地ノ價ト云フモノハ單ニ其土地ノ肥瘠ニ依テノ生ズルモノデアナイ、即チ土地ノ價ト云フモノハ利用ノ如何ニ依テ生ズルモノデアラカラ、成程極ク優等ノ土地ト云フモノハ、既ニ撰リ取リサレテシマタカモ知レナイガ、今日山林ノ方ヨリ、山林ノ今マデ調査シテ居ルモノカラ、更ニ六十萬町歩以上モ、今度再調査ノ上編入スルノ見込モ立テ居ルカラシテ、全部其用ニ立タヌヤウナ土地バカリトハ信ジナイ、即チ優等ノ土地ハ最早一町歩モナイト云フヤウニハ信ジナイノデアル加之明治維新ノ際ニ優等ナル土地ト、今日其次ニ位スルトコロノ土地ト云フモノハ變テ、決シテ前ノ次位ニ位スルトコロノ土地デアラカラ、以前ノ土地ト同ジク今日價ガナイト云フ譯ノモノデアナイ、ソレ故ニ成ルベク此土地カラ其國庫ノ方ニ收益ノアルヤウニ致シタイト云フノ希望デアル、其理由ハドウ云フノデアラカト申セバ、即チ此北海道ノ事業ト云フモノハ勿論必要デアアルシ、又北海道其モノカラ考ヘルトキニハ、非常ニ必要ナル事業ナリト考ヘルモノデモ、此全國ノ上カラ前後緩急ト云フモノヲ考ヘルト云フト、或ハ其必要ト云フモノガ第二位、或ハ三位ノモノデアルト云フヤウナコトニナリハシナイカ、例ヘテ申シテ見タナラバ、釧路ノ築港ハ北海道ニ於テ甚ダ必要デアアル、併シナガラ若シ國ノ大體ノ上カラ考ヘテ見マシレバ、之ヲ横濱ノ築港、或ハ神戸ノ築港ト云フ如キ、日本ノ玄關ニナルコロノ築港ト比較シテ、北海道ノ方ガ寧ろ急デアルト云フコトモ言ヘルヤ否ヤ、斯ウ云フ問題ニナツテ來ルト云フト、單ニ國庫カラバカリ財源ヲ仰グト云フコトニ致シタナラバ、或ハ神戸ヲ先キニシナケレバナラヌト云フノデ、北海道ノ方ガ後ニ廻サレヤウナ結果ガ生ズルカモ知レナイ、此場合ニ於テ北海道自ラ國庫ニ此收入ヲ與ヘルト云フコトニナレバ、自然北海道ノ事業ヲ爲スト云フニ於テ難易ガアルデアラウト思フカラ、ソレ故ニ此國庫ノ收入ヲ幾分デモ出來ルダケハ殖ヤスト云フコトハ必要デアルト、斯ウ云フコトニ申シマスノデアリマス、決シテ此北海道ノ土地、或ハ樹木ノ賣ラタ代價ト云フモノヲ、直接ニ北海道ノ事業ニ充テ、サウシテ其金ガナケレバ如何ナル場合ニ於テモ、國庫カラ支出ヲ致サナイト云フコトニ申シタノデアリマセヌ、唯國庫カラ事業費ガ得ルニ付テノ私ハ難易ノコトヲ申シタノデ、此外ニハ國庫カラ一文モ出サナイト、斯ウ云フ意味ノコトハ、貴族院デモ決シテ申シテ居リマセヌ

○委員長(宮古啓三郎君) 正午ニナリマシタカラ、午後二致シマセウ

正午十二時休憩

午後一時十五分開議

○委員長代理(平島松尾君) ソレデハ委員長ニ代テ開會スルコトニ致シマス
(委員長宮古啓三郎君着席)

○横田虎彦君 私ハ此法律改正案ノ精神、又改正ヲ要スル必要ナル理由ト云フコトニ於テ御説明ヲ求メタイガ、此改正ノ必要ナル理由トシテ過日來長官其他カラ辯明ノアリマシタ趣意ヲ伺ヒマス、第一ハ現行ノ未開地處分法ハ種々ナル弊害ヲ構成セラレテ居ルカラ、此弊害ヲ矯正スルコト云フノガ一ツノ理由ノヤウニ伺ヒマシタノデアリマス、ソコデ私ノ考デハ、此ノ弊害ト云フコトハ寧ろ法ニアラズシテハニアルト思フ、素ヨリ法律ノ上ニ於テ萬般ノ弊害ト云フコトマデモ起ラヌヤウニ、詳細ナル規定ヲ設ケルト云フコトハ、如何ナル法律ニ於テモ出來ナイノデ、法ト云フヨリモ凡テノコトガ寧ろ行政百般ノ事ニ於キマシテ、ハ即チ人ト云フコトガ肝腎デアアル、立憲政治ノ如キモ如何ニ完全ナル法律ガ出來テモ、之ニ當ル人ト云フモノヲ得ナケレバ、殆ド法律ハ何等ノ効モ爲サヌ、就中此此拓殖ト云フヤウナ事ニ於キマシテハ、最モサウデアアル、私共ノ本當ノ考カラ申シマス、寧ろ此拓殖ナドト云フコトハ法律ト云フヤウナコトヨリモ、最モ此立法ノ局ニ當ル人ニ重キヲ爲サナケレバナラナイ、ソレデ是等ノコトハ法律ニ嚴重ナル、又細カナル規定ヲ設ケテ、法律ノ下ニ規定シテ往クヨリモ、若シ今日ノ如キ即チ長官ヲ得マシタト云フヤウナコトデアリマシタナラバ、私ハ寧ろ法律ハサウニ云フ場所ニハ必要ガナイ、法ニ章デ止マツテ宜シ、況ヤ斯ウ云フ場所ニ於キマシテハ、最モ其時機ニ應ジテ一般ノ事情ニ相應ジテ、拓殖ノ實ヲ舉ゲルト云フ精神ヲ往カナケレバナラナイト思ヒマス、私共ハ國家ノ經濟ノ上カラ見マス、今日ハ或ハ戰後ノ經營トカ、滿韓經營トカハ素ヨリ必要デアアル、或ハ樺太新領土ノ經營、或ハ臺灣ノ經營トカ云フヤウナ事ガ多クアリマスケレドモ、就中此北海道ノ經營ト云フコトハ、國家ノ經濟ノ上カラ見テ、實ハ頗ル重キヲ有シテ居ル、又國家ノ經濟ノ上カラ見マシタナラバ、極メテ有望デアアル、多望デアアル、サウシテ今日マデノ事ハ種々ナル開拓使以來ノ經營モアリマスガ、其實況ニ就テ見、又今日ノ凡テノ商工業或ハ農業ノ事ニ於キマシテモ、マダノ初期ニ屬シテ居ル、一タビ行ツテ見マシレバアレダケノ廣イ面積ガ、到ル處鋤ヲ投ジタ跡モアルシ、道ヲ開イタ形跡モアル、或ハ市街ノ形モゴザイマスケレドモ、其根柢ノ上カラ見マス、マダノ僅ニ何分ノ一ト云フ位ノ、即チ大體ノ經營ニ於テ緒ニ着イタト云ウテ差支ナイ、而シテ將來ニ於ケルトコロノ此北海道全體ニ於ケル有ニル事業、即チ個人的ノ經營ノ上ニ於キマシテ、國家ノ經濟ノ上カラ見マシテモ、極メテ緊要デアアル、又有望デアアル、若シ北海道ノ經營ヲ十分ニ遺憾ナク發達セシムルコトガ出來マシタナラバ、今日ノ國家經濟ノ上ニ於キマシテ、頗ル有望ナモノデアルト信ジテ居リマス、ソレ故ニ是ハ單純ナル未開地處分法案デアリマスケレドモ、私共ハ最モ重キヲ措イテ實ハ見テ居ルノデアリマス、ソコデ此改正ノ必要ハ何レニアルカト云ヘバ、即チ今舉ゲマシタ第一ハ弊害ノ矯正ト云フコトガアル、然ルニ假ニ之ヲ新舊ノ比較カラ見マス、果シテ弊害ト云フ點ニ於テ當局者ガ期待セラル、如キ矯正ノ實ヲ舉ゲルトコトガ出來ラウカ、即チ無償貸付ヲ致スト云フ場合、今度ノ如ク有償賣下ヲスルト云フ點ニ就キマシテモ、或ハ其點ニ於テ一層ノ弊害ガ相伴フヤウナコトガナカラウカ、無償ト云フコトニナリマスレバ、要スルニ名ガ無償デアアル、隨分無償貸付ヲ受ケマス上ニ於テ決シテ無償デナイ、實際ニ於テ段々調ベテ見マス、私共ハ寸毫ノ土地モ北海道ニ關係シテ居マセヌガ、實際取調ベテ見ルト其土地ノ貸付ヲ受ケルト云マデニ種種ナル手數、イロノナル之ニ付テハ運動ガアル、即チ弊害ガ從テ起ル、或ハ假ニ賄賂

ト云フヤウナコトハナイト致シマシテモ、ナカ／＼之ニ付テ澤山費用ヲ要スル、即チ其貸付ヲ受ケタ土地が實際ニ於テ、相當ノ價值ヲ以テ賣買セラレテ居ルト云フコトハ事實デアリマスカラ、其賣買セラレタ相當ノ價值ト云フモノハ何デアルカト云フト、即チ無償ノ貸付ヲ受ケマスマデノ種々ノ費用が、即チ取りモ直サズツレバ他ニ轉賣シテ得ラレノデアル、土地其物ニ要シタ費用が一ノ價值トナツテ、實際ニ賣買セラレテ居ルト云フヤウナ有様ニナツテ居ル、併シ無償貸付ト云フコトニ致シマシテモ有償賣下ケニシテモ、豫メ土地ヲ定メテ交付セラレ望ムアル場所ハ、北海道ニ在ル人ハ皆望ミヲ屬スルカラ、均一適當ノ場所ト云フコトハ無論往カナイ、望ミノ有ル見込ノアル場所ニ就キマシテハ、ヤハリ之ヲ得ヤウト云フ上ニ於テハ、之ヲ得ヤウト云フニ付テ競願者モアリ、運動が必要デアリマス云フヤウナコトデアリマスカラ、其點ニ於テハ少シモ現行法ト今度ノ改良法案トハ、比較上ツレ等ノ弊害ヲ矯メル上ニ於テ優レリト認ムベキ點ハナイ、サウシテ有償ノ買受ケマシタ後ニ、轉賣ハ許サレテ居ル、轉賣シタ場合ニ於テ或ハ甲カラ乙、乙カラ丙ニ轉賣ガアル、此法案ニ依リマスル成功條件が附セラレテアツテ、此條件ヲ充サズ限リハ或ハ殆ド六分ト云フコトデアリマスガ、六分ガ五分ト云フマデ 成功ヲ致シマシテモ、後ト一部ニ其成功が出来ヌデ、功一 一箇ニ虧クト云フ場合ニ於テ、此法律ノ下ニ沒收スル、此沒收スルト云フコトが早ヤ一般ノ法律、即チ權利關係ト云フ方ノ精神カラ見マス、甚ダ當ラ得テ居ラヌト思ヒマス、賣拂ツテ所有權ヲ渡シタ以上、條件附ノ賣買解除ト云フコトモ致シマスガ、普通ノ民法カラ見ルト甚ダ穩當デナイ、而モツレニ加工シテ僅ニ九分ノ功一 一箇ニ虧イテ居ル場合ニ取上ゲルノミナラズ、ツレニ加工セラレタモノヲ沒收スルト云フハ當ラ得ナイ、且ツ始めニ納付ヲシタ代金ハヤハリ共ニ沒收セラレ、コトニナル、頗ル事實トシテ開墾ニ從事シヤウト云フモノハ、自ラ責任ノ重イ利害關係ノ厚イト云フ觀念カラ致シマス、或ハ成功檢査ノ場合ニ至リ、或ハ最初ノ得ヤウト云フ上ニ於キマシテモ、種々ナル競争種々ナル運動ト云フモノガ、伴フコトハ免レナイ、尙數多ニ賣買セラレテ結局其人ニ移轉スルニ拘ラズ、責任ハ初メニ買受ケタ者ニ帶ビタル責任ガ繼承セラレテアルコトナリマス、甲乙丙丁ト、ツレガ賣買セラレテ移轉シテ居ル場合ニ、此條件ニ缺ケルトコロガアツテ處分ヲセラレト云フ場合ニ至ツテ、其人ガ責任ヲ負ウテ取上ゲラレト云フ場合ニ至リマス、或ハ其甲乙丙丁間ノ賣買ノ契約間ニ、縱令甲乙間ノ契約ハ他日取上ゲラレコトガアツデモ、一切ノ責任ハ負ハナイ、或ハ此場合ニ於テハ賣主ガ責任ヲ負フ、其間ノ契約ノ上ニ於キマシテ、種々ナル契約ガ成立チマシテ、其結果若シ是ガ取上ゲラレト云フコトニナリマスル、此間ニ種々ナル訴訟ガ續出シ、甲乙間ノ契約ノ履行、丙丁間ノ契約ノ履行ト云フヤウナコトニナツテ、其損害ノ責任ノ上カライロ／＼ノ訴訟ナドモ續起ラスルヤウナ憂ガナカラウカ、サウ云フヤウナ種々ナル結果ニ伴フコトノ利害カラ致シマスルモ、從ツテ其本ニ遡テ始メ買受ケマス場合ニ於キマシテモ、亦開墾ヲ致スト云フ上ニ於キマシテモ、一層利害ノ關係ガ深ク、詰リ責任ガ重イト云フコトニナリマシテ、或ハ檢査ノ上ニ又ハ其他ニ於キマシテ種々ナル請託ガ起リ、種々ナル運動ガ起ルト云フヤウナコトデ、寧ろ弊害ガ其方ガ甚ダシクナイカ、利害ガ厚ケレバ厚イ程ヨリ一層ツレニ伴フコトノ運動ナリ請託ナリガ行ハレル種々ナル方法手段ガ行ハレルト云フヤウナコトニナリマス

カ、從ツテ前途弊害ガ起ルコトガ現行法ニ比較シテ殆ド徑廷ガナイヤウニ思フ、是ハ唯今舉ゲマシタノハ一例デアリマスガ、其弊害ヲ矯メルト云フコトニ付テ、現行法ヲ改正シナケレバナラヌト云フ理由ヲ、今一層承リタイ、第二ハ先ツ拓殖ト云フコトガ斯ウ云フ方法ヲ以テ、即チ時勢ノ伴フコトニ改正ヲシテ、拓殖ノ進歩ヲ圖ルト云フコトハ、是ハマア無論圖ラナケレバナリマセヌ、然ルニ第三ノ點ハ之ヲ以テ相當ノ收入ヲ得ルト云フコトガ一つノ理由ニナツテ居ル、國家ノ收入ヲ得ルト云フコトが頗ル本案ニ付テ攻究スベキ第一ノ問題デアル、果シテ當局ノ豫期セラレルガ如キ收入ガ得ラレヤ否ヤ、斯ウ云フコトハ是ハ疑問デアル、餘程慎重ニ實際ノ——空論デハ往カナイ、北海道ノ現狀ニ付テ吾々が攻究ヲシナケレバナラヌ、併ナガラ假リニ何程カ分リマセヌガ、期待セラレルトコロノ收入ヲ得ルコトガ一つノ目的デアルヤウニ思フ、寧ろツレガ大ナル目的ノヤウデアアル、ソコデ私ガ此所ニ問ハント欲スルトコロハ、所謂拓殖ト云フ上ニ於テ重キガ置カレアルカ、或ハ收入ト云フコトニ重キガ置カレアルカ、若シ之ヲ切ニ申シマスルト弊害ヲ矯メル方法ハ他ニモアリマセウ、兎モ角モ長官ガ總テノ施政ノ局ニ當ラレテ此北海道ノ未開地ノ拓殖ヲスルト云フコトヲ、眼目ト致サレマシタ以上ニ於テハ、無償ト云フ方ガ拓殖ニ利益デアルカ、有償ト云フ方ガ拓殖ニ利益ガアルカ、無償貸付ト云フコトが寧ろ土地ヲ開クト云フ上ニ於テ宜シクハナイカ、先ツ其弊害ハ第二ト致シマシテ本當ニ土地ヲ開クト云フ上ニ於テ、ドチラガ宜イカ、若シ國家ニ多少收入ヲ得ルト云フコトヲ主眼トスルナラバ、是ハ北海道ノ拓殖ノ上ニ付テ大ニ考ヘナケレバナラヌ、土地ヲ開クニハ新ニ開クト云フコトガ伴ハナイ限リハ、是迄開ケタ所ノモノヲ段々後戻リスルト云フコトハ、是ハ必然ノ道理デアル、若シ是ガ收入ト云フコトガ主ニナツテ居ラデ——主ト云フコトモアリマスマイガ、重キガ置カレテ、開クト云フコトガ從ニナツテ居ルトシタナラバ、甚ダ北海道ノ前途ノタメニ憂フベキ點デアル、開ケナケレバ何ニモナラヌ、收入モ得ラレヌ、或ハ開クトコトが出来ルト言ハレルデアリマセウガ、其比較ハドウデアルカ無償ニシテ貸付シテヤルト云フ現行法ノ如キモノデアラフト、賣ルト云フコトニシテヤルト、實際開クト云フノモノ一點カラ打算ヲシテ見タナラバ、ドチラガ宜カラウ、私共ノ考デハ金ハ幾分か國家ニ得ラレルカ知ラヌケレドモ、開クト云フコトハ無償ノ方ガ餘程宜シイト思フ、先ツ北海道ノ開クト云フコトヲ主ニシナケレバナラヌ、開カナケレバ國家ノ利益ニナラナイノデアルカラ、ヤハリ開クト云フコトニ專ラ重キガ置キタイト思フ、土地ノ價值ノ如キモ成程一町歩ノ耕地ハ貴族院ノ修正ノ通りト致シマスレバ、四圓五十錢ト云フデアリマス、高イモノデハアリマセヌ、併ナガラ實際ハ九圓以上ニ賣レテ居ルト云フコトハ土地其モノ、價值カラ割出シタモノデハナイト思フ、内地ノ假リニ牧場ノ或ハ未開ノ原野ト云フヤウナ點カラ申シマシテモ、中國、九州、四國或ハ追々開ケタ場所ハサウデモアリマセヌガ、東國ノ如キ土地廣クシテ未開地ノ多イト云フヤウナ場所ナド、比較ヲ致シマシタナラバ、決シテ一町歩四圓五十錢ト致シマシテモ、ドウデアラウ、況ヤ九圓ナド、云フノハ寧ろ根據ノナイ割出シデハナイカ、弊害ト云フコトニ付テハ、吾々モ徹頭徹尾之ヲ何トカ矯メルト云フコトニハ主眼デアリマスケレドモ、是ト同時ニドウシテモ斯モウシテモ、一ツ北海道ハ有ラユル手段方法ヲ以テ出來得ルダケハ人ヲ呼ビ資本ヲ呼ンデ、サウシテ開クト云フコトガ國家ノタメニ利益デアル、又拓殖ノ方針トシテモサウナケレバナラヌト思ヒ

マスノデ、先ず此點ニ於キマシテ一應御意見ヲ伺ヒテ見タイ

○政府委員(河島醇君) 横田君ノ御答致シマス、當局ノ認メテ居ル北海道ノ拓殖ト云フコトハ、少シ意見ガ違フテ居リマス、拓殖ヲ狹イ意味デ申シマスルト耕種牧畜ヲ意味スルヤウニ思ヒマス、併シ廣イ意味デ申シマスレバ、北海道全部ニ於キマシテ、諸般ノ設備ヲ成ルベク速ニ致シテ、之ニ伴フテ諸般ノ所謂耕種牧畜ヲ始め、工業其他ノコトニ就キマシテモ、十分發達ヲサセル、即チ全部ノ發達ヲ致サセルニ外ナラヌノデアリマス、成程開拓使ノ場合ニ於キマシテ、全國ヨリ農民ヲ募リ、一二年ノ食料ヲ貯ヘ、總テノ材料ヲ内地ヨリ供給シタ時節ト、今日トハ實ニ雲泥ノ違ヒト言ハナケレバナラス、即チ海ニハ汽船ノ便、又陸ニハ汽車及車馬其他比較的道路トカ其他ノモノ、昔日トハ其趣ヲ異ニシテ居ル、即チ拓殖上移住セントスルモノ、食物ナリ衣服ナリ總テ皆北海道出來ルコトニナツテ居リマス、ソレカラ又團體移住其他ガ起リマシテ、傍ニ於テハ耕耘ヲ始め、種々ノ工業ノタメニ大變人モ入込シテ來ル、是等ノ有様ハ昔日ノ所謂耕種牧畜ノ時代デナクシテ、今後大ニ種々ノ設備ヲシナケレバナラス、第一鐵道ノ延長ニ從ッテ、之ニ關聯スルコロノ道路橋梁等ノ築設、及又海陸聯絡、即チ築港等ノ如キハ、最モ拓殖上ニ必要ナル補助機關デアルト考ヘマス、是等ノコトヲシマスルニハ、ドウシテモ相當ノ費用ヲ得ルコトハ勿論ノコト、思フ、北海道ニ於テ巨額ノ利益アルモノハ即チ漁業デアリマス、此漁場ガ國有デアッタナラバ、今日ハ非常ナ財源デアル、次ニ鑛山ト云フモノ、是モ國有デアッタナラバ非常ノ財源デアル、是等ノ財源ハ道廳ノ有デハナイ、皆民間ノ有デアル、殘テ居ルノハ是カラ開墾セラルベキ土地及ヒ國有及民有ナルコロノ森林、此二ツ外ナイノデアリマス、此森林ノ大部分ハ、皆國有デアル又未開地モ國有デアル、ソコデ開拓ノ初メニ當ツデスラ、土地ヲ賣却シテ相當ノ方法ヲ設ケテ、之ヲ開拓シタルコト云フ風デアル、今日ハ一般ニ開拓ノ進歩ニ伴フテ其土地ガ非常ニ價ヲ有チ、賣買モ盛ニ行ハレル時期ニ達シタルデアル、サウスレバ第一資本ノアル者ガ來テ、大ニ資本ヲ投シテ北海道ヲ開カケレバナラス、又ソレト同時ニ耕種牧畜ガ開ケルト同時ニ、一方ニ交通機關ガ開ケテ、其土地デ産シタルコロノ物産ガ同時ニ相應ノ價格ヲ有セルコト云フ方法ヲ採ラナケレバナラス、其途ヲ探ルニハソレニ要スル費途ガナクテハナラス、若シ十分ニ國庫ニ餘裕ガアツテ、總テ北海道ノ拓殖ニ十分ナル金ガアレバ、無償デモ宜シウゴザイマス、併ナガラ國庫ニ餘剰ガナクシテ開墾ヲスルト云フニ至リマシテハ、土地ヲ賣リ森林ヲ賣ツテ、サウシテ開拓上ノ進歩ヲ圖ルト云フコトハ當局者トシテ正當ノ順序デアルト思フ、一方ニ於テ相當方法ヲ獎勵スレバ、却テ所有權ヲ確實ニシ、或設計ヲ立テ前途ヲ期シテ大ニ計畫セザルベカラズモト思フ、サウ云フ方法デナク、傍ニ於テハ無資産ノ者ガ、唯種々ナ方法ヲ以テ土地ヲ得テ、而シテ之ヲ他ニ轉賣スル、自分自カラハ開拓ノ意思ガナクテ、土地ヲ占有シタ者ガ澤山アル、ソレガタメニ本當ニ開墾ヲシヤウト云フヤウナ資力ノ薄イ者ナドハ、希望ノ土地ヲ得ルト云フ途モ今日ハ無イト云フ御話モゴザイマスガ、是等ハ當局者ハ十分ニ注意ヲ加ヘテ、本統ニ拓殖ノタメニ開墾ノ希望アル者ハ、ソレト方法ヲ立テ、所謂特定地ヲ設ケ、希望者ヲシテ確實ニ其業務ニ就カシメタイト云フコトデアル、サウスルト無資産ニシテ唯土地ヲ占有シテ轉賣シテ、利益ヲ得ヤウト云フヤウナ輩ヲシテ、近ヅカシメザルコトガ出來ル、併ナガラ物ニハ利害伴フモノデアッ

テ、之ヲ主宰スル所ノ當局者ガ、餘程責任ヲ有タナケレバナラス、責任ヲ有ツコトガ薄ク、注意ヲ怠ツタナラバ、之ニ伴フ新弊害ガ生ズラウト思フ、此點ニ於テハ現行ノ法律ノ不備ヲ補ヒ、併セテ現行ノ法律ヨリモ十分活用スルコトノ出來ル途ヲ開キタイト云フノガ即チ希望デアツテ、唯弊害ヲ防グバカリデハナク、弊害ヲ防グト同時ニ大ニ確實ナル方法ヲ立テ、十分ニ活用セシメタイト云フノガ一ツノ希望デアリマス、ソレヲスルニハ現行ノ法律デハ活動ノ範圍ガ狹イ、是等ノ狹イコロヲ擴メ、而シテ又有名無實ナルコロノ事項手續ハ、之ヲ成ルベク省キ、彼ノ成功檢査ノ如キモ毎年檢査スル方法ヲ省イテ、併セテ成功檢査ヲシテ往クト云フ方法ヲ設ケタナラバ、其目的ヲ達スルコトガ出來ヤウト思フ、即チ弊害ヲ防グコトガ出來ルノミナラス、之ニ注意ヲ加ヘタナラバ、其目的ヲ達シヤウト思フ、ソレデ唯國庫ノ財源ヲ得ヤウ、收入ヲ増スト云フ一點ノミデナクシテ、即チ一方ニ永住移民ヲナサントスル者ニ向ツテハ、十分ナル補助ヲ與ヘ、十分ニ之ニ安心ヲ與ヘテ、十分ナルコロノ計畫ヲ立テシムルト同時ニ、又今日價アル土地ハ相當代價ヲ賣拂ツテ、其財源ヲ以テ北海道拓殖一般ニ伴フトコロノ設備ノ費用ニ供シタナラバ、併セテ所謂北海道全部ノ拓殖ヲシテ速ニ其功ヲナサシムルト云フコトガ出來ヤウカト云フ希望デアル、固ヨリ先刻次官カラ述べラレタ通り、北海道ノ經費ハ特別會計デアリマセヌガ、目下國庫ノ有様ヲ見マスルト、財源裕カナル場合デハナイト思フ、又内地ノ港灣其他ノ所ヲ見ルニ、北海道ハ内地ト同様デハナイ、併ナガラ北海道ノ拓殖ト云フ點カラ見ルト、ドウシテモ内地ヨリ種々ナル方法ヲ以テ、是ガ速成ヲ期サナケレバナラス、果シテサウデゴザイマシタナラバ、北海道ハ特殊ノ財源ヲ得テ、如何ニ國家ガ急告グルト雖モ、拓殖ノ費用ニハ困ラナイヤウニ致シマシタナラバ、併セテ北海道ノ目的ヲ達シヤウト思フ、唯單ニ國庫ノ財源ヲ顧ミズ、拓殖ノコトハ北海道ノ費用ハ一ニ國庫ニ依ルコトニナリマシテ、價ノアルモノヲ相當ノ價ヲ拂下グズシテ、ソレヲ直チニ希望者ニヤルト云フコトハ宜イニ違ヒナイ、併ナガラソレ等ノコトニ付テハ、既ニ申述ベシ如ク、一方ニ於テ大ニ弊害ヲ生ジテ居ルデアリマスカラ、其弊害ヲ矯正スルト同時ニ、十分ニ確實ナル保護ヲ與ヘテ、サウシテ拓殖ノ實ヲ舉ゲシメタイト云フノガ即チ此議案ノ趣意デアリマ

○横田虎彦君 尙伺ヒマスガ、成程北海道ノ拓殖ト云フコトハ、單リ土地バカリデハナイノデアリマスガ、先ヅ土地ヲ開ク――土地ヲ開ク上ニ於キマシテ又弊害ト云フコトハ現行法ニ於テモ弊害ハアル、此法律ニナツテモ弊害ノアルト云フコトハ申スマデモナイ、何レノ場合ニモ弊害ノ伴フト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、當局者ハ土地ヲ開クト云フ上ヨリ、ヨリ一層早く又相當ノ方法ニ於テ開クト云フノミヲ目的ト致シマスレバ、賣ルト云フコトト、唯ヤルト云フコトトデハ、ドチラガ早く土地ヲ開クト云フ上ノミカラ見タナラバ、宜カラウカト云フコトヲ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(河島醇君) 此提案デ特定地ヲ設ケタノハ、即チソレデ資本ノ無イ者ガ開墾ヲシヤウト云フニ於テハ、十分ノ保護ヲ加ヘテ、即チ土地モヤル、樹木モヤル、サウシテ厚キ保護ヲ爲スト同時ニ、特定地ヲ設ケタルガ、是等ノ者ハ凡一万二千人位アル、ソレニヤルコトニナル、又其他ノ農業ニ於キマシテモ、資産ノアル人デ即チ自カラ資産ヲ持ツテ來テ、或ハ自カラ從事スルトカ、或ハ相當ノ代理人ヲ置イテ小作人ヲ入レテ之

ヲ開墾スルト云フモノ、之ニ向テ相當ノ代價ヲ徴シ、併セテ樹木ノアルヤウナモノハ、此案ニアルヤウナ方法ヲ以テ賣拂フ、ソレト同時ニソレニ向テハ尙十分ノ活動ヲ爲スガケノ餘地ヲ與ヘル、併ナガラ牧場ノ如キ、森林ノ如キ、大ナルコトヲ爲スモノニハ、ソレダケ面積モ廣キ面積ヲ與ヘ、年限モ長キニ互テ十分之二ハ當局者モ便宜ヲ與ヘル考デア、又或ハ泥炭地ノ如キ、若クハ火山灰地ノ如キモノモ、十分ニ調査ヲシナケレバナラヌト考ヘマス、ソレデドチラカト云ヘバ、此特定地ヲ置イテ趣意ハ、自分テ耕作ヲシナイデ、土地ヲ賣テ大地主トナツテ居ルト云フモノガアル、ソレガタメニ弊害ガ生ズル、即チ今日ノ大地主ト云フモノハ、自ら開墾スル意思ガナクシテ土地ヲ有シテ居ルト云フコトガ、是ガ時弊ノ根源デアルト思ヒマス、サウ云フ者ガ澤山アリマス

○横田虎彦君 唯今ノ御説明デハドウモ分ラヌトコロモアリマスガ、ソレハソレトシテ、尙自分ハ數箇條ノ細目ニ互テ質問シタイト思ヒマスガ、今マデノ例ニ依ルト、數箇條ノ質問ヲ一ツニ列ベテ一時ニ御答辯ヲ受ケルコトニナツテ居リマスガ、ソレデ分リニクイト思ヒマスカラ、一々一箇條ツ、御答ヲ願ヒタウゴザイマス、ドウゾサウ云フ風ニ御答辯ヲ願ヒタイ、細目ニ互リマスガ、現在ノ此耕地牧場ト云フヤウナモノ、既ニ民有トナツテ居リマスルトコロノ總反別ハ、過日御示シナリマシタ表ニ依ツテ分リマスガ、成ルベク既ニ成功シタトコロノ耕地トカ、又ハ相當ノ設備ガ出來タトコロノ牧場ト云フヤウナモノガ、現在ノ總反別ノ上ニ於テドノ位アリマセウカ、又未開墾即チ未成功ニ屬シテ居ル部分ガドノ位アルカ、而シテ未成功ニ屬シテ居ル部分ハ、凡ソ今後ニ於テ何年間位ニ於テソレト成功ノ日ニ達スルトコトニナツテ居リマスガ、是ヲ一覽表ト云フヤウナモノニ於テ御示シヲ願ヒタイ、サウスレバ最モ明瞭スルト思ヒマスカラ、ドウゾサウ願ヒタイ

○政府委員(黒金泰義君) 唯今ノ御尋ハ今日國有未開地ヲ貸付處分ヲシタ者ガ如何程アルカト云フ御尋デアリマセウガ、若モ其中テ成功シタモノガ幾ラアツテ、未ダ成功シナイモノガ幾ラト云フコトニナリマスルト、今日ノ貸付地デアルモノハ皆成功シナイノデゴザイマス、ソレカラ將來何年カ、ツテ出來上ルカト云フコトニナリマス、此中テ大地積ハ十箇年、ソレカラ小サイモノハ八箇年五箇年ト云フコトデゴザイマスカラ、一々區別シマセヌト何年間ト云フコトハ申上ケニクウゴザイマス、唯是ガ何時マデニ成功スルカト云フコトハ、御手許ニ配付中ノ八十一萬六千町歩ト云フモノハ、今日マデ成功致シマセヌモノガ大部分デアリマスカラ、ソレハ是カラ年々成功検査ヲ致シマシテサウシテ、成功致シマシタモノハ、成功シタダケヲ返還ヲ見ルコトニナツテ居リマス、ソレデ今日マデ貸付致シマシタ土地ノ凡ソドレダケノモノガ成功シテ、ドレダケガ不成功デアルト云フコトハ、今日マデノ成績ニ依ルト、耕地ハ約三割八分程ノ成功致シマセヌ所ガアリマス、ソレカラ牧場ハ二割六分程ノモノガ成功致シマセヌデ、返還ヲ命ジタ所ガゴザイマス、其他ノモノデ一割以上ト云フコトニ、今日マデ既ニ貸付致シマシテ成功検査ヲ致シマシタ上ニ於テノ結果デゴザイマス、其他ハソレナラバ八十一萬六千町歩ガ、何年マデニ總テ民有ニ屬スルカト云フコトニナリマス、皆區別ヲ致シマセヌデハ申上ゲルコトハ出來ヌデアリマス、ソレマデノ御尋デアリマスレバ、尙取調ベテ申上ゲマス

○横田虎彦君 御取調ガ出來マスナラバドウカ願ヒマス、其次ニハ此度ノニハ特定地ト云フモノガゴザイマスガ、現在ノ此自作農小作農ト云フモノ、一戸ニ對スル耕作反

別、ソレカラ此總反別ニ對スルトコロノ自作ト小作ノ割合ハ、ドウ云フ割合ニナツテ居リマセウカ、又例年引續イテ移住致シマスル住民中ニ、小作ヲ目的トスル者ト自作ノ目的トスルトコロノ者ト、其割合ドウ云フ風ニナツテ居リマセウカ、之ヲ一ツ御尋シタイ

○政府委員(黒金泰義君) 今日迄北海道ノ自作農ト小作農トハ、戸數ノ上カラ申シマスルト、殆ド半分ツ、御承知ヲ願デ差支ナイノデゴザイマス、ソレカラ既ニ民有ニ屬シマスル土地ノ一戸分ハ、貸附スルトキニハ自作農ハ五町歩ト云フコトニナツテ居リマス、小作ノ方モヤハリソレト同様五町歩貸付シテ居リマス、ソレカラ既ニ民有ニシテ自作ノハ一戸ノ所有段別ハ大分減ツテ、四町歩ガ缺ケタカト思ヒテ居リマスガ、併シ確タルコトハ何レ取調ベテ申上ゲマス、ソレカラ毎年移住スル者ニ付テハ、自作農ガ幾ラアツテ、小作農ガ幾ラアルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ一昨年ノ移住民ヲ申上ゲマス、六萬六千、昨年ハ八萬五千バカリデアリマス、其中農民ハ殆ド半分——半分ヨリハ少シ割合ガ宜クナツテ居リマス、參ル時ハ名々北海道ニ來テ土地ヲ賃ヒタイト云フノガ主モノ目的デアツテ、大地積ノ勧誘ヲ受ケテ來ル方ハ、寧ロ私共カラ見レバ少ナイノデアリマス、ソレハ何故ト云ヘバ、大體カラ言ツテモ、ソレカラ道廳テ自作農トシテ取扱ツタ割合カラ云フト、北海道ニ參ル大分部ハ自作農デアリマスガ、願出ノ間ニ合ハナイ關係トカ、或ハ大地積ノ勧誘ヲ受ケテ、小作ニ這入リマスタメニ、統計上ニ於テハ北海道ニ於ケル自作農ト、小作農トハ殆ド相半バシテ居リマス

○橋本久太郎君 私ハ北海道ニ非常ノ或富源アルト云フコトハ、一昨年昨年ハ半年バカリ實況ヲ觀察シタ上カラ之ヲ認メマシタ、之ニ對シテ國家ガ此富源ヲ開發スルノニ、如何ナル方法手段ヲ執ルガ一番宜イカト云フコトハ、對北海道シテ最モ攻究スベキモノデヤト深ク實地ヲ見テ感シテ居リマスガ、諸君對北海道ヨリ之ヲ觀察シテ、是マデ無償貸付地元ヨリ此小農ニ對シテ無償ナルコトハソレハ申スマデモナイ、舊來ハ勿論今日デモ左様ナラザルヲ得ヌガ、大地積ニ對シテハ無償貸付ニスルガ宜イカ、又有償貸付ニスルガ宜イカト云フ大體ヲ定メル上ニ於テハ、時期ノ如何ト云フコトモ亦最モ攻究シナケレバナラス、今日ニ於テ無償貸付制ヲ改メテ有償貸付ニスルニ於テハ、果シテ宜キヲ得テ居ルヤ否ヤト云フコトハ、餘程ハ本案ニ就テ最モ攻究スベキ要點デアルト私ハ此案ニ付テ考ヘテ居ルノデアルガ、本案提出者ノ說明ニ依ルト、舊來大地積ヲ無償貸付トナシ來ツタニ付テハ種々ノ弊害ガアル、此弊害ハドウシテモ矯メザルヲ得ヌ、又一方ニ對シテ大體ヨリ觀察シテ、交通機關其他ニ對シテ施設經營スベキ點ハ一ニシテ足ラヌガ、ソレヲ元資金ガナイ、ソレ故ニ一面ニ於テハ舊來ノ弊害ノ幾分ヲ杜絶スルト同時ニ、一方デハ其收入ヲ以テ元資トシテ施設經營ヲシナケレバナラスト云フコトカラ、今度ノ改正提案ヲサレタモノト思フガ、諸君サウナルトデス、私ガ是ニ於テ一ツ御尋シマスガ、當局者ガソレニ對シテ即チ元資金ヲ得ルト云フ豫算ハ、一箇年凡ソ何レ程ノ收入ヲ以テ豫算ニ立テラレテ居ルノデアルカ、又何年間ニドレ程ノ是デ財源ヲ得ラレト云フ方針ヲ立テラレテ、サウシテ其財源ハ如何ニ使用スベキカト云フコトヲ承リタイ、諸君財源ニ就キ當局者ガ年々是デケ、收入ガアツテ、何年間ニ是デケノ支出ヲスルト云フ答辯アルコト、シテ、更ニ其施設經營スベキコトニシテ急ヲ要スルモノハ少ナカラヌト思フ、其急ヲ要スルモノニ對シテ、當局者ハ此豫算ヲ元資金トシテ、公債ナリ其他ノ手段方法ヲ執ツテ其金

額ヲ短縮シテ使用シ、サウシテ急ヲ要スルコトハ早ク完備スルコトノ手段方法ヲ當局者ハ執ルガ善イトスルカ、惡イトスルカ、ソレニ付テモ當局者ハ御政究ニナッテ居ナイカ、ソレヲ一ツ承リタイ、唯今弊害ヲ矯メルト云フ手段トシテ有償ニスルト云フコトハ、是ハ別ニ政究スベキ程ノモノデナイト思フ、ト申スハ有償ニシテモ無償ニシテモ、ドチラニシテモ弊害ハアルト思フ、ソレハ大體ノ觀察ニシテ是ナリトシタナラバ、其觀察ノ是ナリト云フヲ動カサズシテ、其進路ヲ妨グヌ範圍ニ於テ弊害ヲ矯メルト云フ方針ヲ執ルガ、最モ當ラ得タル手段方法ト思フテ居ル、此弊害ヲ矯メルトメニ、無償貸付ヲ有償貸付ニスルト云フ一事ニ至ッテハ、ソレハ私ハ多少當局者ト考メ異ニシテ居ルガ、詰リ大體ニ於テ無償貸付デアッタガ、之ヲ有償貸付ニスルハ北海道ノ拓殖上ニ、當局者ハモウ今日ニ於テハ弊害アリト觀察ヲ下サレテ居ルコトハ無論デゴザイマスガ、ソレニ付テ十分ナル吾々ニ安心ヲ與ヘルダケノ大體上ノ説明ヲ得タイノト、ソレカラ大體上收入ノ豫算ヲドウ立テラレテ居ッテ、又其費途ノ大體ノ方針ハ那邊ニアルカ、ソレヲ承ハルト同時ニ、一面ニ於テハ其金ヲ元資金トシテ、而シテ公債ナリ其他ノ手段方法ヲ執ッテ、サウシテ急ヲ要スベキコロノ施設經營ヲ早クスル手段方法ヲ政究ニナッテ居ルコトガ有ルカ無イカ、若シ有リトスレバソレヲ止メラレタ理由ハ、ドウ云フ御觀察カラ止メラレタノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(河島靜君) 私カラ御答致シマス、無償下付ヲ有償下付ニシタコトニ付テハ、既ニ御承知デゴザイマスカラ述ベマセヌ、北海道ノ拓殖業務ヲ進行スル上ニ於テハ大ニ資金ヲ要スル、其費途ニ供スルタメニハ即チ土地ヲ賣却シテ、是ガ費途ニスルト云フコトモ御承知ノコトデアリマスガ、倍其費途ハ何等ノモノニ支出スルカ、ドウ云フ方法ニスルカト云フコトデアリマスガ、又其費途ハ財源ガアツタナラバ、之ヲ公債ニ依テ、ソレヲ以テ速成サレル手段ガアルカ、ドウカ、是ノ政究ガアツタカドウカト云フコトデアリマスガ、一番後ノ御問ハ、政府ハ公債若クハ道債ヲ起シテ、北海道ノ開墾ノ費途ニ供シテ、其目的ヲ速ニ達セシムル方法ニ付テハ斯ノ如キ方法ニ依リ、斯ノ如キ方法ヲ講ズルト云フコトハ承リマセヌガ、傳ヘ聞ク所ニ據レバ、當局者ニ於テ腹案ヲ立テ、政府ニ持出シタト云フコトヲ聞イテ居リマス、北海道ハ前議會ニ提出ノ案ノ如ク、特別會計ヲ施行スル方法デアリマセヌケレドモ、其參考書トシテ現ハレタノハ、殆ド特別會計ノヤウニナッテ居ル、森林其他ヲ經營シテ、其金ヲ以テ北海道ノ港灣修築等ノ費途ニ供スルコトニナッテ居リマシタ、其當時如何ナ方法ヲ有シテ、斯ノ如ク決定シタカト云フコトヲ聞イテ見ルト、北海道當初公債ヲ起シテ此費途ニ充テルト云フコトデアッタ、所ガ國家多端ノトキデ戰後ノ時デアリマスカラ、多額ノ公債ヲ發スルノハ國家經濟上利益デナイ、公債ヲ返還スルニハ北海道ノ森林其他ヲ以テ償却スル見込ガ有ラナラバ、何シニ其費用ヲ以テ直ニ應用シナイノデアアルカ、今公債ヲ起シテ之ヲ經營シ、併セテ公債ハ目的アル事業ヲ以テ償却スルト云フ方法ヲ止メテ、寧ロ目的アル事業ヲヤッテ之ヲ以テ經營シタ方ガ良イト云フヤウニ、前案ノトキニ定マッタ承テ居リマス、ソレデ前案ハ北海道ノ經營ニ充テル案ニナリマシタコトコガ、其案ハ前議會デ否決ニナリマシタ、即チ其理由ハ森林經營ノ方法ガ宜シキヲ得ナイ、此等ハ能ク調査スルガ良イト云フ理由ノヤウニ承ッテ居リマス、故ニ此度豫算ヲ提出シ、北海道ノ經營ヲ立テ上ニ於テハ、公債ニ據ルト云フコトハ、今考案ハ無イノデアリマス、北海道ノ森林ヲ整理シ、又此處ニ提出シタル未開地

處分法ヲ改正シテ、ソレヨリ出テタル收入ハ、成ルベク拓殖ノ目的ヲ達スル費途ニ充テタイ、ソレダケノモノハ國家財政ノ急ナル場合ト雖モ他ノ費途ニ供セズシテ、成ルベク此金額ダケハ北海道ノ拓殖費ニ支出シテ貰フト云フ希望ヲ持ッテ居ル、政府モ其希望ヲ容レラレタカノヤウニ推測スル、故ニ今後北海道ハ北海道ノ特種ノ財産ヲ得タナラバ、ソレダケノモノハ拓殖ニ支出シテ貰フコトガ出來ルヤウニ考ヘテ居リマス、故ニ未開地處分改正ヨリ生ズル收入ノ如キモ其一部ニ成リマスソレカラ此等ノ費途カラ生ズル豫算ノ大體ハドウカト云フ御尋デスカ、ソレハ黑金政府委員カラ表ニ據リテ御答致シマス

○政府委員(黑金泰義君) 唯今御尋ノ如何ホド收入ガアル見込カト云フ御尋ニ御答致シマス、改正案ニ據ルト一年ニ二十七萬三千圓ホド上ガル見込デス、將來六十年迄計算スルト四百五十四萬二千七百八十圓上ガル見込デス、是ハ土地ダケデス、木代ハ別デス

○横田虎彦君 四十一年度ハ如何ホドデスカ

○政府委員(黑金泰義君) 四十一年度ハ二十七萬三千圓デス

○横田虎彦君 四十一年度ノ木代ハ……

○政府委員(黑金泰義君) 四十一年度ノ木代ハ六十六萬五千六百圓デス、六十年マデ通ルト一千九十九萬二千四百四十二圓トナリマス

○横田虎彦君 年々均一デスカ

○政府委員(黑金泰義君) 年々違ッテ居リマスガ、五十七年マデハ同ジデス、木代ハ五年目毎ニ増ス積リデアリマス、土地代ハ同ジコトデス

○橋本久太郎君 此施設ニ付テ御胸算ヲ御洩シニナッテ差支アリマセヌ分ダケ伺ヒタイ

○政府委員(吉原三郎君) 施設ニ付テハ唯今確答致シ兼ねマスガ、先ヅ大體ニ於テ、海陸ノ交通ノ機關ト申ス内、先ヅ築港ヲ主ナルモノニ致シタイト考ヘテ居リマス

○横田虎彦君 今ノ金額ノ點ニ付テ伺ヒマス、木代ガ四十一年度ハ六十六萬五千何百圓ト云フノデスカ、此木代ハ尺メ幾ラ、ソレカラ土地代ハ十七萬幾ラト云フコトデスカ、何程ト云フ割出カラ斯ウナルノデスカ

○政府委員(黑金泰義君) 本ノ代カラ申上ゲマス、是ハ未開地ニアリマス所ノ材木ハ、一町歩ニ八十尺メアルモノト看做シテ居リマス、一尺メノ値段ガ十六錢、其割合デ六十萬五千六百圓デアリマス、ソレカラ土地ノ處分致シマス面積ハ、四十一年ニ於テハ農耕適地トシテ一万五千町、牧畜適地トシテ六萬七千町、植樹地トシテ二千町、其外特定地トシテ處分スルノガ四萬五千町アリマス

○委員長(宮古啓三郎君) 今ノ土地及木ノ代金ノ六十年マデ年々ノ調ヲ表ニ作ッテ御廻シテ願ヒマス

○武滿義雄君 施行規則草案十二條ニ土地ノ賣拂貸付價格評定ニ關スル、規定其他ハ北海道廳長官ガ定メルコトニナッテ居ル、之ニ付テ腹案ガアラウト思フ、賣拂、或ハ貸付スベキ性質ノモノト云フコトハ道廳デ極メルカ、或ハ希望者ガアツデカラ極メルノカ、即チ賣拂ト貸付ノ區分ハ如何ナル方針ノ下ニセラルカ、話ノ出來ルダケ承ッテ置キタイ

○政府委員(黑金泰義君) 土地ノ賣拂ニ付テハ、今日ノ政府ノ規則ヲ用井マス、又

貸付ニ付テハ第一ニ制限ヲ立テルノハ財産ノ證明デ、財産證明ノナイモノニハ勿論貸付セヌノデアルガ、其財産證明ニ付テハ、現行規則ハ甚ダ紛雜シテ居リマスカラ改メル積リテゴザイマス、腹案ト云フト此勅令サヘモ内務當局者ニ一應話ヲシタ位ノコトデ、確ニハ申サレマセヌガ、私ノ考デハ納税額ヲ以テ資格ノ制限ニシテ方ガ最モ確實カト考ヘ、ソレヨリ賣拂ニ付テ事業成功設計書ニ付テハ、年々ノ成功程度ヲ凡ソ雛形ニ依テ差出スコトニ規定シタイト存シマスガ、今日ハ成功検査ヲ殆ド年々施行シテ居ル、又年々施行サレテモ餘儀ナイコトニナッテ居ルタメ、起業者ノタメニハ如何ナル不幸ニ依テ事業ニ着手スルコトノ出來ヌ場合ガナイモ限ラヌ、又開墾牧畜ノ業ハ永年ヲ期スルコトデアルカラ、縱令本年事業が進マデモ、來年進ムコトモアルカラ、先ヅ凡ソ三年ニ一回、成功検査ヲスルコトニシタイ積リデアリマス

○武満義雄君 本員ノ問フハ賣拂ト貸付ト分レルトコロノ原因ハドウ云フコトニナッテ居ルヤト云フコトニ付テ、御話ヲ願ヒタイ、ソレカラ施行規則案第六條ノ但書ノ二割ヲ除クト云フノハドウ云フ意味デスカ

○政府委員(黒金泰義君) 賣拂ト貸付ノ處分ノ區別ハ貸付ノ方ハ、第三條第四條第五條ニ屬スル土地デアルガ、重ナルモノハ第三條ノ特定地デゴザイマス、賣拂フノハ特定地以外ノ土地デアッテ、開墾地牧畜植樹等ヲナスノデゴザイマス

○武満義雄君 アナタ方ノ方デ賣拂フトカ貸付スルトカ云フコトヲ極メルノデスカ

○政府委員(黒金泰義君) コチラ極メマス、ソレカラ六條ノ但書ノ二割以內云々ハ二割以內ハ存置シテモ、起業方法上成功シタモノト見做スト解釋ヲ願ヒタイ

○委員長(宮古啓三郎君) 施行規則ノ六條ハ書方ガ判然シナイ、此文面デ見ルト大地ヲ賣ル場合ニ立木ガアレバ共ニ賣ル、併シ二割ヲ除クト云ウト、八割ハ賣ルケレドモ二割ハ賣ラナイト云フ意味ニ見エマス

○政府委員(黒金泰義君) 之ヲ除クト云フコトヲ申シテ置ケバ除イタ結果ヲドウスルト云フコトガナクテモ、前ノ特定地ニ於テ木ヲドウスルト云フコトヲ申サヌト同ジコトデ、是ハ向フノ勝手ニ任セルノデ、若シ成功シナイ場合ニハ木代ハ徴收シマス

○委員長(宮古啓三郎君) サウスルト二割ハ與ヘルモノト見テ宜シイカ

○政府委員(黒金泰義君) サウデアアルケレドモ成功シナケレバ取リ上ゲル

○政府委員(吉原三郎君) チョット申シテ置キマスガ、未ダ其内務省ハ省議モ經マセヌカラ……

○橋本久太郎君 此六十一万五千六百圓ノ中ニ、今度無償デアッタモノヲ有償シテ將來貸付ケル土地ノ上ニ立木ト云フ者ガアラウト思ヒマスガ、ソレヲ除イデ——全ク今度無償デアッタモノヲ有償ニシテ土地ニアル立木ヲ除イタ金額ハ、ドレ程アリマスカ

○政府委員(黒金泰義君) 是ハ無償ノ分ハ全ク計算シテアリマセヌ

○平島松尾君 此施行規則第六條ニ依ルト、絶對的ニ競争ヲ附サナイト云フコトニナッテ居リマスガ、其行政廳ノ必要ト認ムル場合ニハ競争ニ附スト云フ、此必要ト認ムル場合ト云フノハ、如何ナル場合ヲ云フデアリマスカ

○政府委員(黒金泰義君) 是ハ畢竟競争ガ多クアッテ、特ニ或者ニ貸付スルト云フヤウナコトガアッテハ、却テ公平ヲ失スル嫌ガアルト云フヤウナ場合ニ於テハ競争ニ附スル

積リテ、例ヘバ今日ニ於テモ市街地若クハ市街豫定地ノヤウナモノヲ競争ニ付シタ例モアリマス、詰リ官廳トシテ特別ノ處分ヲスルト云フコトヲ認ムル場合ニハ、特別ノ處分ヲスル積リデアリマスケレドモ、唯今ノ如キ場合ニ於テ畢竟必要デアルト云フ場合ニハ競争ニ附スコトニ致シマス

○委員長(宮古啓三郎君) 澤山ノ願人ガ出タトキニハ、ドウ云フ標準デ許可スル御見込デアルカ

○政府委員(黒金泰義君) 唯今別段斯ウト云フ考モアリマセヌガ、詰リ資格ニ付テノ完全不完全ガ第一ト、同ジ件ニ依テ願出レバ先願ヲ取ル、是ハ特別ノ場合デアリマス、併ナガラ若シ競争ガ激シイカ何ト云フ場合ニハ、特ニ資格ノアル者ニ付テ競賣スル方法モ却テ其當ヲ得ルモノト思ヒマス

○委員長(宮古啓三郎君) 長官ノ御見込デ決定スルコトニナリマスナ

○中西六三郎君 極簡單デゴザイマスガ、念ヲ推シテ置キタイと思ヒマス、此新法ニ依ルト從前土地成功ノ検査ハ隨時ニ改マッテ居ル、此事ハ官廳ニ於テハ誠ニ便利デアラウ、併ナガラヤハリ今日ノ如クニ是非トモ毎年ノ成功程度ト云フモノヲ豫定シテ置イテ、而シテ經濟狀態ノ如何ニ拘ハラズ、絶對ニ是等ノ仕事ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、此新法ノ改良ニ付テ起業者ニ與ヘル便利ノ重ナルモノヲ除クコトニナリマス、畢竟検査ガ隨時ニナルト云フ半面ニ、起業者ノ之ニ付テノ融通便利カ得ラル、ト云フコトハ、最モ起業者ノ望ムトコロデアリマス、從ッテ御尋シタイノハ、今後新ニ賣拂フ若クハ貸付ヲサレル土地ノ起業者ニ付テ、從前ノ如ク殆ド毎年一定ノ率ノ仕事ヲ命ジテ、二年目三年目位ニ餘裕アル段落ヲ付ケルコトガ出來レバ、最モ妙デアラウト思フ、其邊ニ付テノ御腹案ガ若モ新ニ賣拂ヒ貸付スルモノニ付テハ、幾分其邊ノ便利ヲ講ジ、二年目ニハドノ位ニ成功スレバ宜シイ、三年目ニハドノ位ニ成功スレバ宜シイト云フコトデ、當分拒ミモシナイ、都合ニ依テハナサルト云フ積リナラバ、既ニ貸下ラシテアル分ノ最モ窮屈ニ毎年ノ成功程度ヲ豫定シテ居ルコトニ付テモ、事情ニ依テハ新ニ變更シテ願ヒ出ル場合ニ便利ヲ御與ヘニナル御腹案デアルカ、ソレトモ新舊共ニヤハリ窮屈ナル絶對成功程度ヲ履行スル御積リカ、ソレカラ十五條ハ左ノ場合ニ於テハ天災其他ノ避クベカラザル事故ニ依ルモノヲ除ク外ハ貸付又ハ付與ノ處分ヲ取消スベシト云フ絶對ノ意味ニナッテ居ル、所ガ避クベカラザルト云フコトハ他ノ法律ニ於テモ多ク用井テ居ルノデ、天變地異トスヘキ重大事故デナケレハナラヌガ、此貸付又ハ付與ガ已ムヲ得ザル事故ノ爲メニ事業ノ延ビルト云フコトハ、天災同様ノ事故ノミデハアルマイト思フ、時トシテハ相當ト認ムベキモノデアッテ、所謂避クベカラザル程ノモノデナイモノモアリハシナイカ、是等ノタメニ明確ニ天災其他避クベカラザルモノハ取消スベシト云フコトニナレバ、隨分實際ニハ氣ノ毒ナ者ガ後來出ヤシマイカト云フ懸念ガアル、吾々ハ此避クベカラザルト云フコトハ、詰リ正當ノ事由ガアル位ノ程度ニ見テ置キタイ積リデアリマス、立案者ノ御趣意ハ左様ナ意味デハナク、天災同様ニ避クベカラザルモノデナケレバナラヌト云フ意味デアラウガ、ソレカラモウ一ツ施行規則ノ第十一條ニ依ルト賣拂ウ土地デモ、若シ成功シナイ間ハ讓渡ヲシヤウト云フニハ行政廳ノ認可ヲ受ケナケレバナラヌ、所ガ此處分法即チ新法ニ依ルト、第十二條ニ貸付地ニ關シテノミ、前項ノ規定ニ違背シタ者ニ對シテハ、其貸付處分ヲ取消

スコトヲ得トスウフコトニナツテ居ル、貸付ニ付テハ行政廳ノ許可ヲ受ケナケレバナラヌ
ゾ、斯様ノ規定ガ本法ニアル、即チ半面ニハ行政廳ノ許可ヲ受ケナケレバ賣拂ウコトガ
出來ルト云フヤウニ、斯様ニ解釋シナケレバナラヌノアルシ、此處分法ダケヲ讀メバ其
意味ダラウト思ハレ、若シ處分法ガ賣拂ニ付テハ、讓渡シハ買受人ノ自由ニ許シテ居
ルモノヲ、勅令ニ據テ其自由ヲ拘束スルト云フコトハ、主法ノ効力ガ抵觸スルト思フ、私
ハ此十一條ト云フモノガ勅令ヲ將來出ベキ腹案ニ過ギヌカラ、未ダ確定ノモノデハア
リマスマイケレドモ、若シモ豫定ノ如ク此十一條ノ通りニ後日勅令ガ出レバ、勅令ト法律
ノ抵觸ヲ來スト云フコトハ明瞭ナ次第ト思ヒマス、仍テ處分法ガ此通りニ通過スルト云
フモノナレバ、賣拂地ハ——讓渡ハ自由ニシナケレバナラヌト思ヒマスカラ、其點ヲ御
意見ヲ承リタイト思フ

○政府委員(黒金泰義君) 唯今ノ御尋ニ付キマシテ御答シマス、此草案ノ中ニ見込
ヲ立デマシテ、賣拂又ハ貸付シタモノデモ、其自由ハ云々ト云フコトガ書イテアル、勿論
是マデハ貸付地デアリマスカラ、總テ取扱上ニ於テモ嚴格ニシナケレバナラヌコトト思ヒマ
スガ、將來ハ之ヲ賣拂テ、成ルベク確實ナル資本家ニ向テ處分スルトコロノコトニナツ
テ居リマス、貸付スル土地ニ付テモ、將來ノ如ク年々成功検査ト云フコトハ要セヌコトニ
ナツテ居リマス、或ハ二年若クハ三年ニナルカ、其邊ハ確實申兼ネマスガ、成ルベク企業
家ニ向ツテ起業上ノ便宜ヲ與ヘル方針ヲ考ヘテ居ル、又大分從來ノ現行ノ法律ニ因ッ
テ貸付シタルモノニ對シテ其通りノ精神ヲ行フカト云フ御尋ニ付キマシテハ、是ハ尙考ヘ
ナクチヤナラヌコト、思ヒマスノハ、是ハ貸付シマシタルモノノ土地デゴザイマスカラ、ドウカト
申シマスルト、此方カラ急イデ早ク成功サセナケレバナラヌ傾テ居ル、ソレデアアルカラ
是ハ或ハ從來ノ如ク成功検査ヲスルカ知レマセヌケレドモ、併ナガラ希望トシテハ起業
上ニ於キマシテハ、成ルベク便宜ヲ與ヘテヤリタイト云フコトハ十分ニ考ヘテ居ルコトデア
ル、ソレカラ本法ノ第十五條ノ所デ、避クベカラザル事故ト云フコトニ付テノ御尋デアリ
マシタガ、成程是ハ少シク嚴格ニ過ギルヤウナ天災ト書イタ上ニ、又其次ニ避クベカラザ
ルト云フコトハ、隨分嚴格ニ失スルヤウデアリマスケレドモ、是ハ申上ゲルマデナク、刑事
法デゴザイマセヌカラ、サウ嚴格ニ致スノデハアリマセヌ、詰リ唯今ノ御話ノ如ク相當ノ事
由ガアルト云フコトデモ、私共見テ差支ナイト思ヒマス、現ニ私共ガ取扱ヒマシタルハ、
三十七八年ノ戰爭ノタメニ既ニ貸付致シマシタルモノガ、起業ガ進マナカッタト云フモノニ
付テハ、昨年モ検査ノ結果トシテ企業方法ノ變更ナリ、延期ト云フモノヲ許シタモノヲ
數多クアル狀況デゴザイマスカラ、是ハ天災其他避クベカラザルト云フコトテ堅ク書イタヤ
ウデアリマスガ、モウ少シ柔カニ御解釋下ステモ、立法ノ精神通りデアルト思ヒマス、尙
茲ニ取消スベシト云フコトヲ書キマシタルハ、是ハ申スマデモナシニ、四條ハ「公衆又ハ公共
ノ利益トナルベキ事業デゴザイマスカラ、ソレヲ一年モ無償デ貸付シテ居ッテ、サウシテ一
年モ此事業ニ着手セヌト云フヤウナコトデアッタナラバ、最早猶豫シテ居ルマデモナイ、取
上ゲテモ宜イト云フ精神カラ取上ゲルコトニ致シマシタ、ソレカラ其次ギニ第四條、五條
ニ至リマシテモ、詰リ付與又ハ有償ニテ貸付シタル土地ハ二年ノ期間ヲ與ヘラレタケレドモ
元貸付致シマシタル性質ガ、既ニ此ノ如キモノデアリマスカラ、ソレヲ一年ナリ二年ナリノ
間着手ヲセヌデ打抛テ置クト云フコトデアッタナラバ、之ヲ取上ゲタ方ガ宜カラウト云フ

コトデ、右様ニ書キマシタルデゴザイマス、ソレカラ十一條ニ於キマシテ、行政廳ノ認可ヲ
受クベシト云フコトニ付キマシテハ、成程是ハ御意見ノ如ク私共仲間ニモ隨分議論ガア
ルコトデアリマス、ソレデハ是ハ全ク御參考ニ供シマシテ居リマシタケレドモ、極ク初歩ノ草
案デアツテ、未ダ内務省ト雖モ僅ニ主任位ト話ヲシタニ過ギナイデアリマス、ソレデサイ
モ今日議論モアリマスカラ、性質上多分……ト云フコトニナラダラウト思ヒマス

○橋本久太郎君 此施行規則ノ第五條ノ耕地牧畜、ソレカラ植樹ニ對スル此賣拂
價格ニ基キタル金額ガ、先刻御話ノ二十七万何程ト云フ金額デゴザイマスガ、サウスルト
チヨット御尋シマス、先刻御話ノ此賣拂地ニ對スル金額ガ二十七万三千圓ト御答ニナ
リマシタガ、ソレハ此吾々ニ御渡シニナツタ御草案ノ施行規則ノ第五條ニ據ッテ價格カラ
積算セラレタデゴザイマスガ、此貴族院ハ初メ御出シニナツタ其豫算ガ、此金額ノ倍ニ
ナツテ居ルカ、ソレニ基キテ居ルデアルト、丁度此金額ガ半分ニナルデアリマスガ、是ハ
六百圓ト云フノハ、ソレハ今度新タニ無償デアッタノ有償地ニシテ其上ニ立ッテ居ル立
木ヲ除イテ居ルト云フ御話デアリマスガ、即チ今度有償ニテ貸付ケル、其上ニ立ッテ居
ル立木ノ代ト云フノハ、凡ソドノ位ノ御積算ニナツテ居ルカ、六十一万五千六百圓ノ上
ニソレガ概算ニデモ加ハラヌケレバナラヌ答ト思ヒマスガ、其金額ヲ一ツ承リタイト思ヒマ
ス

○政府委員(黒金泰義君) 此第二十五條ニ據リマスルトコロノ金額ニ基キマシテ、二
十七万三千圓ト云フモノ、ソレカラ割出シマシタ

○橋本久太郎君 貴族院ニ出タキニハ倍デアツタ

○政府委員(黒金泰義君) サウデス

○橋本久太郎君 是マデノ舊來山林ノ拂下ゲト云フヤツニナルノデスナ、舊來ノ此有
ルトコロノ費用ノ有ツタヤツハ——舊來アツタ此金額ハドノ位デゴザイマスガ

○政府委員(黒金泰義君) 國有林ヲ處分シテ行キマスノハ三十一万圓デゴザイマス

○橋本久太郎君 サウスルト、是カラ先キ北海道ニ施設經營ヲスル時分ニハ、是ヲ合
算シタモノト見テ居ルト云フコトニナルノデスナ

○政府委員(黒金泰義君) 森林整理ノ經費ハ唯今申シマシタル外ニ十一万六千圓デ
ゴザイマス、是ハ豫算ノ時ニモ申シマシタル通り、國有林ノ内カラ、林地トシテ三十万町
歩ヲ賣拂フコトニナツテ居リマス、ソレデ來年ハ六千町歩ヲ賣リマス、ソレヲ合セマシ
テ……

○橋本久太郎君 サウスルト、此金額ハ一般會計ニ入レルノデ、北海道ヲ施設經營
スル元資金ニハ見テ居ラナイノデゴザイマスガ、併セテ見テ居ルモノトシテ差支ナイノデスカ

○政府委員(黒金泰義君) 豫算ニ於キマシテハ、唯今申シマシタル三十一万圓ト、ソ
レカラ十一万六千圓ト云フモノハ、森林經營費ニ伴フ收入トナツテ居リマス、合セテ四
萬六千圓デゴザイマス、ソレカラ森林ノ經營ハ明年ハ四十二萬二千圓掛カル譯ニナツ
テ居リマス

○鈴木藤三郎君 私ハ少シ御尋ネシタイ、此案ノ大体ヲ通ジテ見マス、土地ノ處分
法ニ付テ從來ノ無償ト云フコトハ、今日デ宜クナイカラ有償ニシテ云々、此法ヲ採ル方

が宜イト云フコトノヤウニ見エマス、又皆サンノ御質問ニ御答ニナタトコロデモ明カデモアリマスガ、唯私が一ツ御伺ヒ致シタイノハ、成程今マデノヤウニ無償テ致シテ居リマス、或ハ實際ノ仕事ヲセヌ人ガ、其權利ヲ所有シテ居テ目的ノ開墾ガ出来ヌ、其弊ヲ矯メルニハ、之ヲ有償ニスレバ自然ツレバ抛テ置クコトガ出来ヌヤウニナルト云フコトが一ツ、モウ一ツハ或約束ノ年限内ニ成功シナイトキニハ、代價ハ戻サズシテ土地ヲ沒收スル、斯ウ云フコトガアル、故ニ此開墾ノ目的ガ達シ得ラレルモノト云フヤウナ説明ニモ見エマスガ、私ノ疑ノアルノハ之ヲ摘シテ申シマス、罰ヲ置クト云フ——約束通りニセヌトキニハ其權利ヲ沒收スルト云フコト、是モ法トシテ獎勵スルニハ宜イカトモ思ヒマスガ、其反對ノ事ガ私ハ此中ニ見當リマス、凡ソ罰スルト云フコトガアレバ、又之ヲ約束通りニ成功シタ者ニハ、最初政府ニ取ツタコロノ代金ヲ半バ戻ストカ、或ハ全部戻レルトカ、又別ナ方法ヲ設ケテ賞スルトカ、斯ウ云フコトガ明カニアッタナラバ、即チ此目的ヲ達スル爲メニモナリマセウト思ヒマス、是ニ付テハドウ云フ御考ガゴザイマスカ

○政府委員(黒金泰義君) 之ヲ賣拂ノ制度ニ改メマシタノハ、畢竟資本家ヲ待ツト云フコトデゴザイマシテ、今日ノヤウナ無償貸付ノ狀況デハ、資本ヲ持タナクテモ貸付ヲ受ケルト云フヤウナ結果カラ、或ハ他人ノ財産證明ヲ借りテ騒ギ立テルヤウナコトニナリマス、ソコデ將來ハ詰リ是ハ資本家ニ待ツテ賣拂フト云フコトニ致シマス、今日ハ貸付ヲ受ケタ者ガ、又他ニ轉讓致スト云フ狀況デアリマスカラ、寧ロ其轉讓シテ個人人間ニ益アルモノヲ初メニ官廳ニ於テ取ツタデアリマス、若シ成功シタナラバ無論其成功シタ者ニ付テハ、確實ニ此未開地處分法ノ條文ニ抵觸シナイ、詰リ第十四條ニ抵觸シナイモノト云フヤウナ證明ヲ出スコトカ、或ハ登記所ニ向テ通知ヲ出シテヤルトカ、斯ウ云フ方法ハ是ハ施行規則ノ方デ定メル積デアリマスルケレドモ、尙進ンデ成功シタカラト云フテ、之ヲ賞與ノ一部分ヲ返シテヤラウト云フヤウナコトハ初メノ考ノ中ニゴザイマセヌ、全ク個人人間ニ轉賣スルモノヲ以テ、賣拂フト云フ精神カラ起リマシタノデアリマス

○鈴木藤三郎君 サウスルト之ヲ一言ニ申シマスルト、罰スルモノハ罰スルガ、賞與ハ別ニナイト云フコトニナルノデスナ

○政府委員(河島醇君) 左様デゴザイマス、賞スルト云フ方ハゴザイマセヌ、併シ罰スルト云フデモ、約束通り即チ成功セザルトキハ己ムヲ得ヌ其土地ノ返還ヲ命ズルト云フデアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) 今日ハ是ニテ散會シマス、次ノ開會日ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス

午後三時五分散會

明治四十一年三月二十二日印刷

明治四十一年三月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局